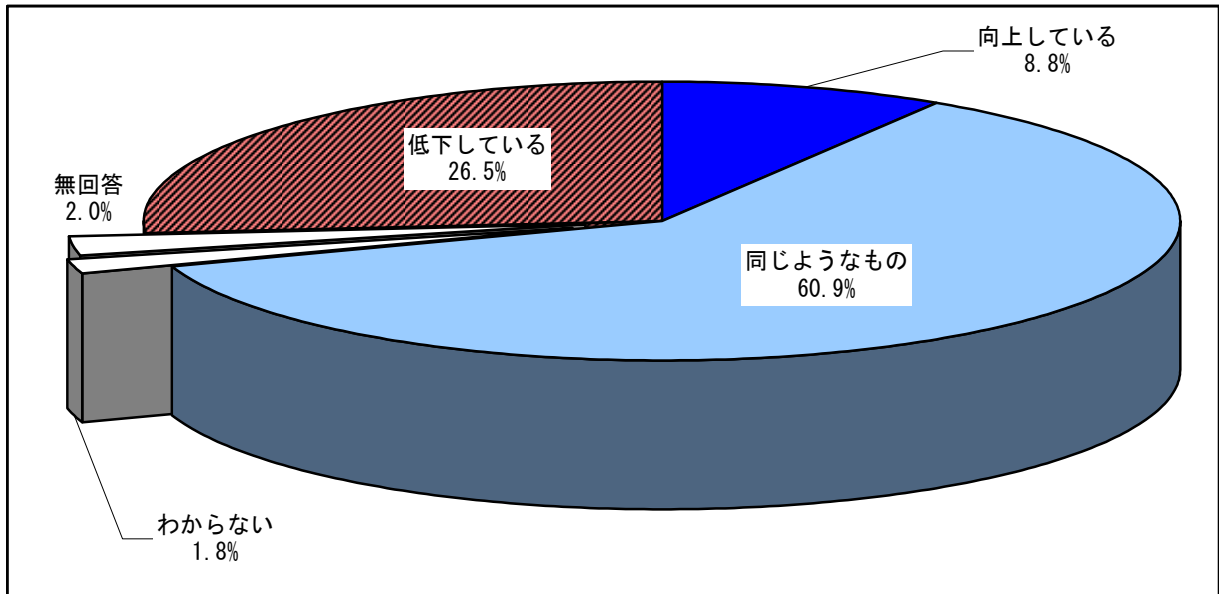


6 暮らし向きに対する意識

- 「向上している」と「同じようなもの」の合計は69.7%、「低下している」は26.5%で前年と同水準を維持している
- 『満足』（「満足」+「まあ満足」）は47.8%、『不満』（「やや不満」+「不満」）は32.5%と『満足』が『不満』を15ポイント程度上回り、前年と同水準

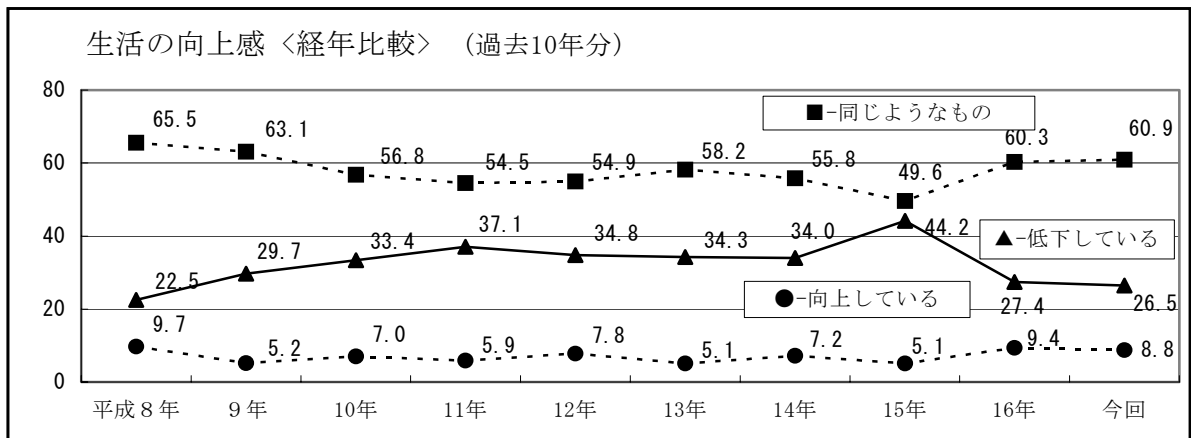
(1) 生活の向上感



■ 「向上している」+「同じようなもの」が約7割で、前年と同水準

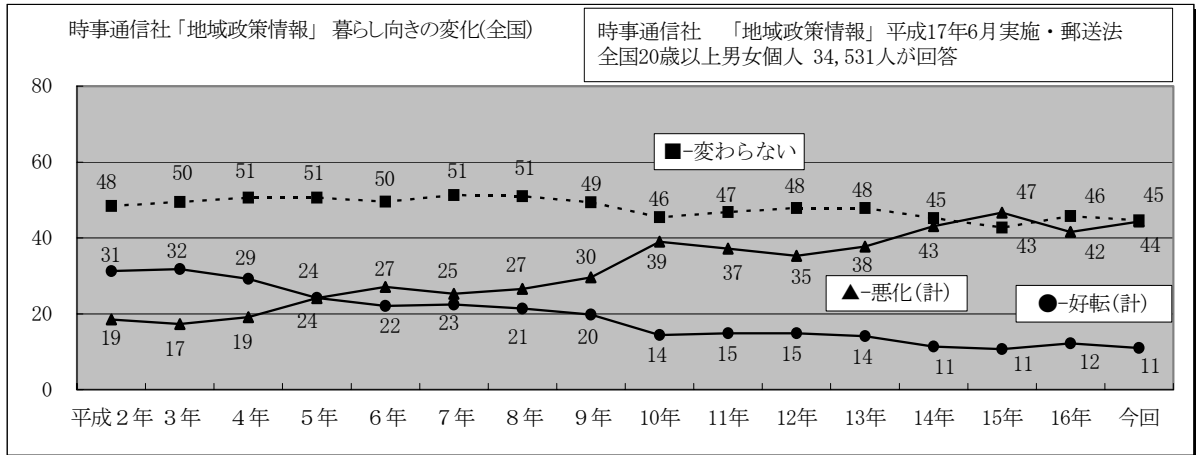
自分の生活が去年の今頃と比べてどうかを聞いたところ、「向上している」(8.8%)と「同じようなもの」(60.9%)の合計(69.7%)は約7割で、「低下している」(26.5%)は2割台半ばを超えている。

経年変化をみると、どの項目も前年度調査とほぼ同水準を維持している。



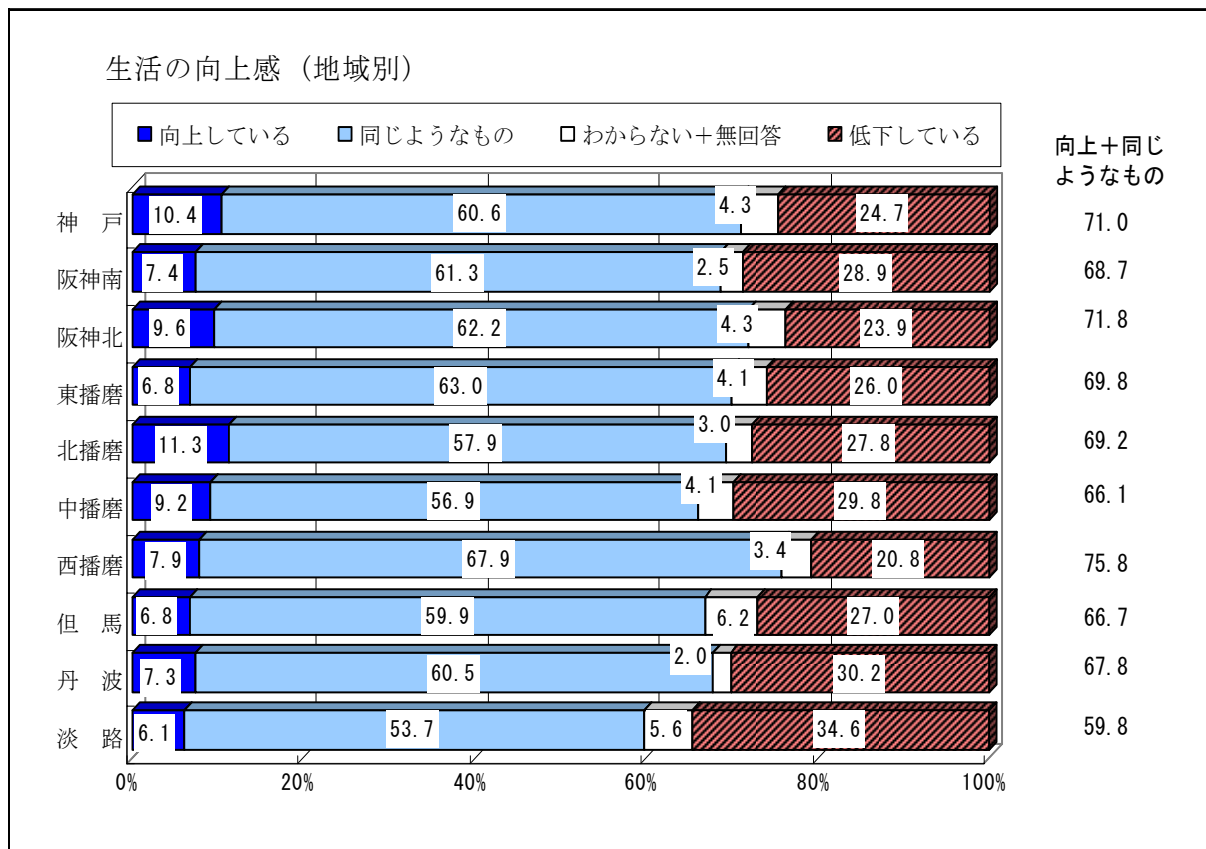
[参考]

全国の経年変化(時事通信社「地域政策情報」)をみると、平成17年6月時点では、「好転」(計)は11%と前年度調査より1ポイント減少、「悪化」(計)は45%と前年度調査より3ポイント増加した。



■ **地域別** 「向上している」 + 「同じようなもの」が最も高いのは西播磨

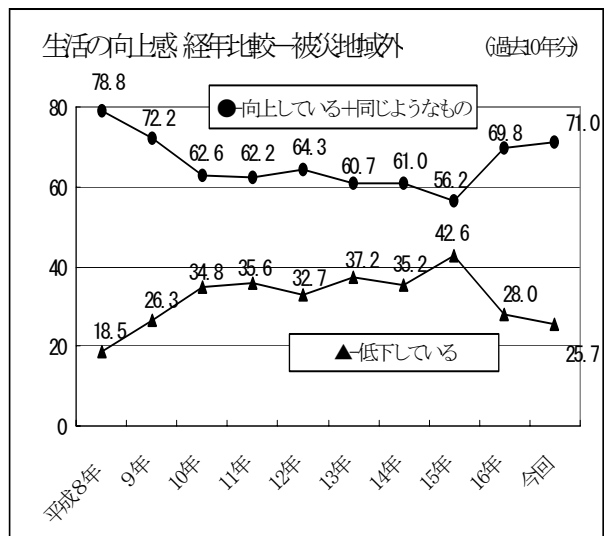
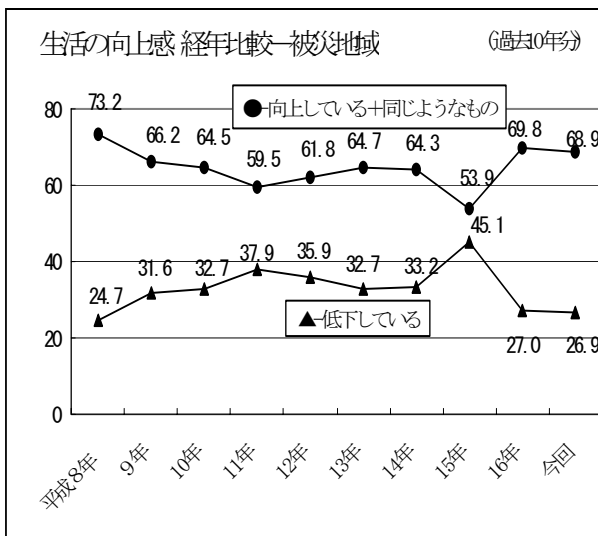
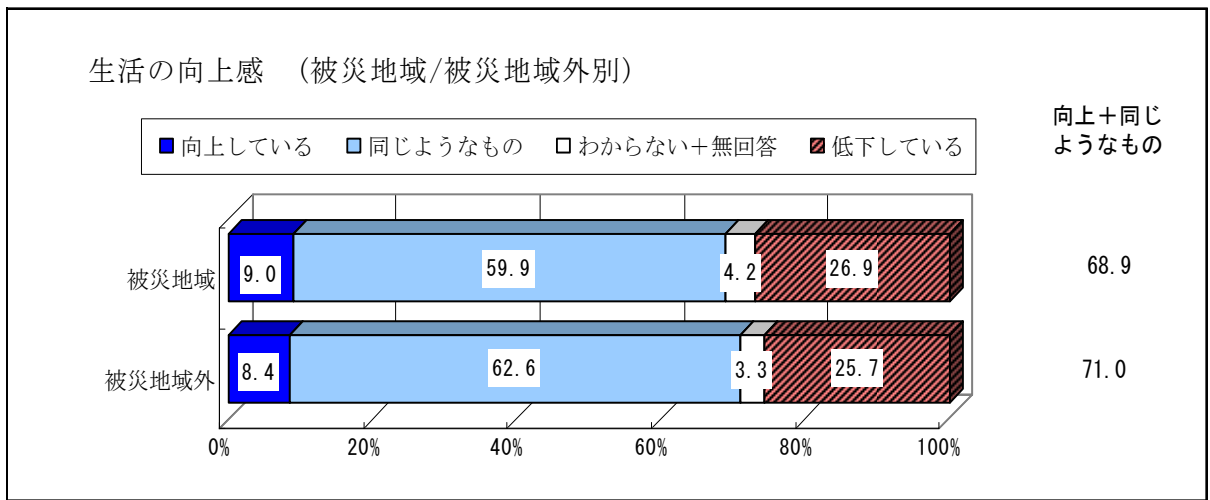
地域別でみると、「向上している」と「同じようなもの」の合計が最も多いのは、西播磨(75.8%)で7割台半ばを超え、次いで阪神北(71.8%)、神戸(71.0%)、東播磨(69.8%)、北播磨(69.2%)、阪神南(68.7%)で7割前後となっている。一方、最も少ないのは淡路(59.8%)で約6割となっており、「低下している」(34.6%)は3割台半ばとなっている。



阪神・淡路大震災の被災地域(*)・被災地域外別でみると、「向上している」と「同じようなもの」の合計は、被災地域(68.9%)、被災地域外(71.0%)とも7割前後と大きな差はない。

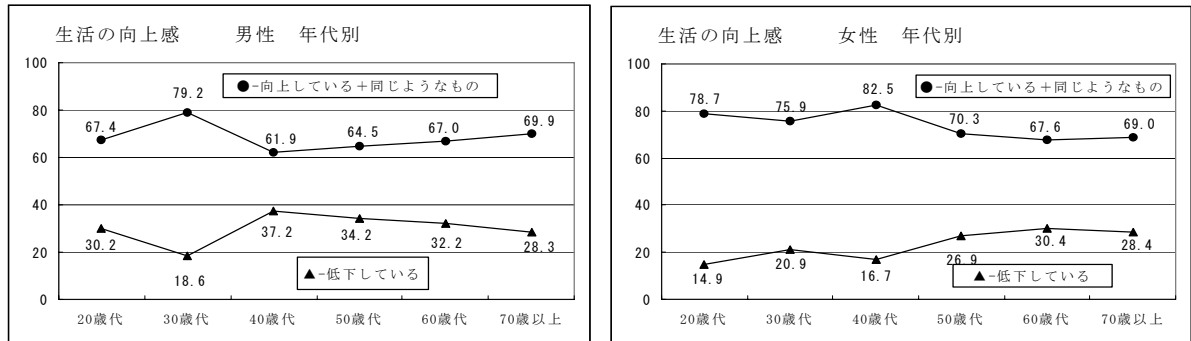
時系列でみると、被災地域では、「向上している」と「同じようなもの」の合計(68.9%)、「低下している」(26.9%)は、いずれも前年度調査とほとんど差はない。一方、被災地域外では、「向上している」と「同じようなもの」の合計(71.0%)は前年度調査から1ポイント増加、「低下している」(25.7%)は2ポイント減少した。

(*)被災地域=神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、明石市、三木市、洲本市、南あわじ市、淡路市、五色町



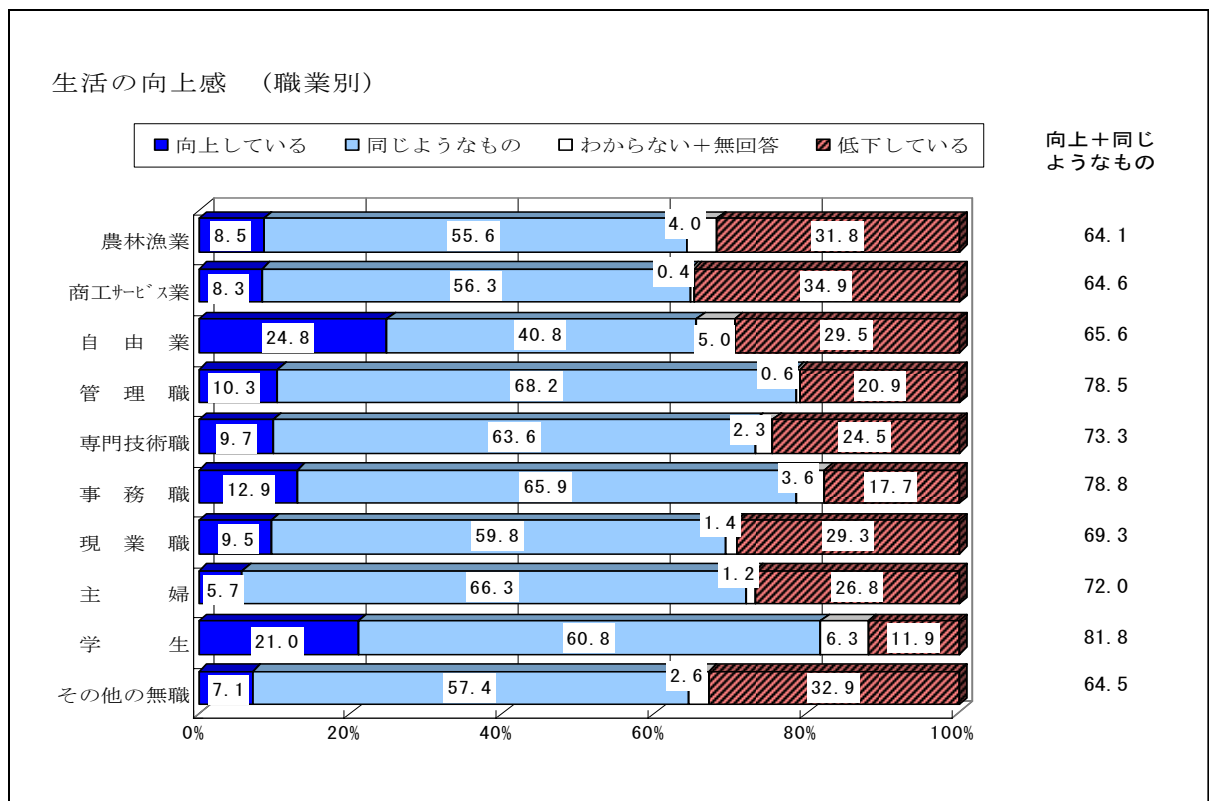
■ **性別・性・年代別** 「低下している」は男性の40歳代などで多い

性・年代別でみると、「向上している」と「同じようなもの」の合計は、男性の30歳代(79.2%)や女性の20歳代(78.7%)及び40歳代(82.5%)で多く、8割前後となっている。一方、「低下している」は男性の40歳代(37.2%)及び50歳代(34.2%)で多くなっている。



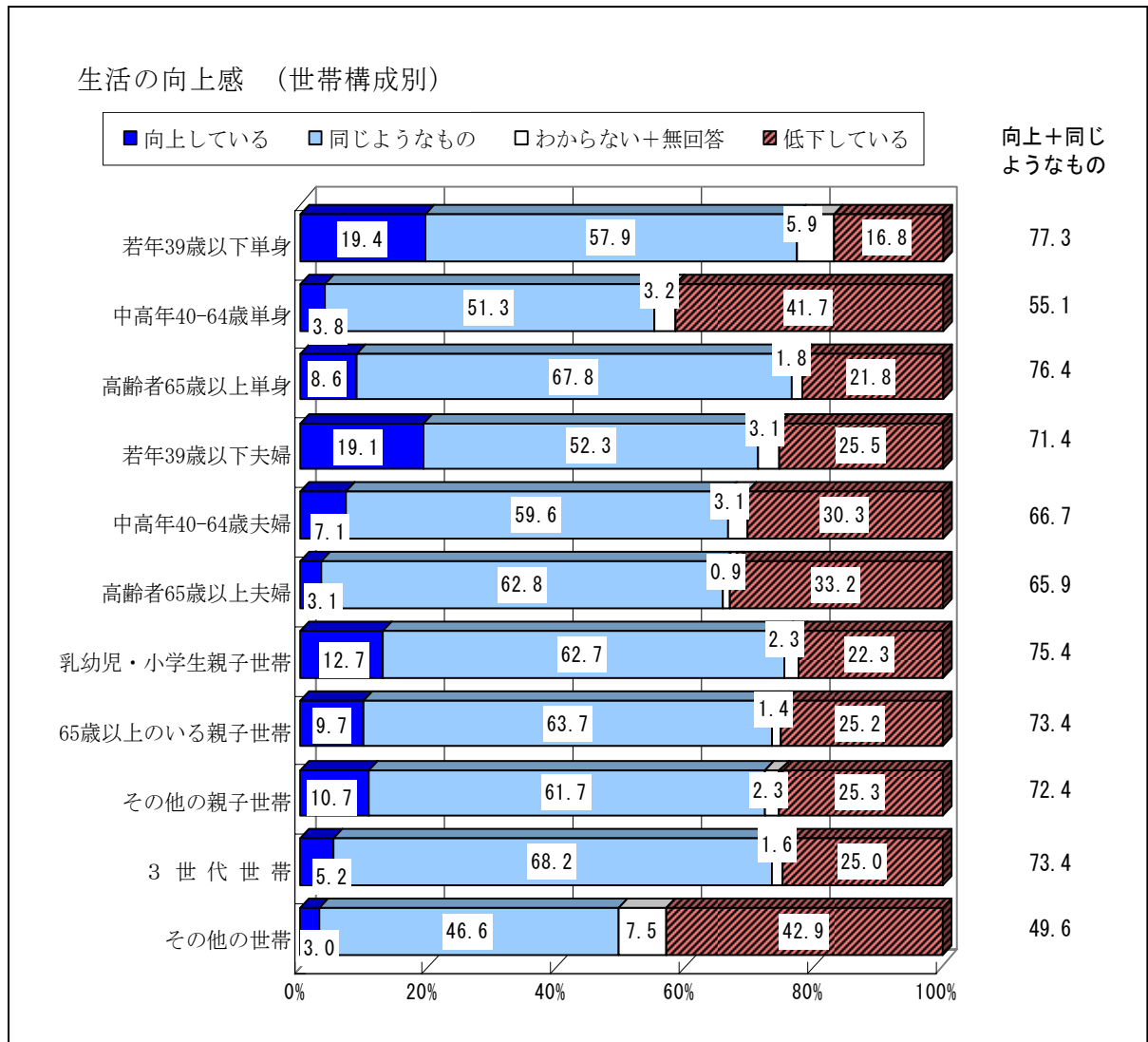
■ **職業別** 「低下している」は商工サービス業、無職、農林漁業で多い

「向上している」は自由業(24.8%)や学生(21.0%)で多い。「向上している」と「同じようなもの」の合計が最も多いのは学生(81.8%)で8割を超えており、次いで事務職(78.8%)と管理職(78.5%)が多くなっている。一方、「低下している」は、商工サービス業(34.9%)で3割台半ばとなっており、次いで、その他の無職や農林漁業が3割を超えている。

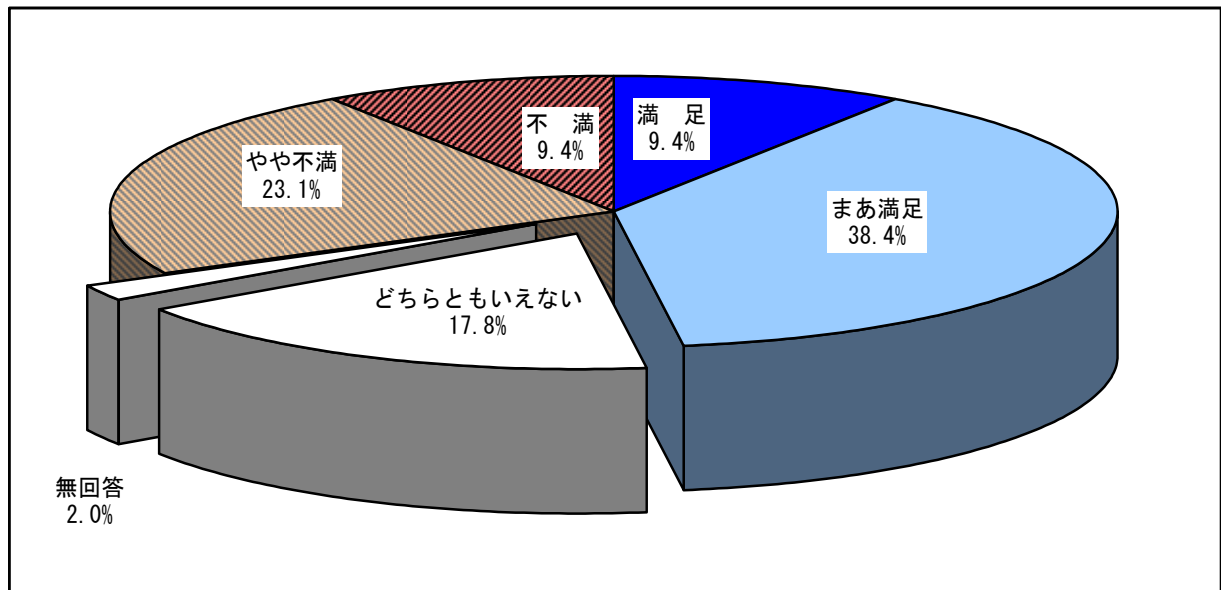


■ **世帯構成別** 「低下している」は、その他の世帯や中高年単身世帯で多い

「向上している」は、若年単身(19.4%)や若年夫婦(19.1%)が多い。また、「向上している」と「同じようなもの」の合計が多いのは若年単身(77.3%)で、次いで、高齢者単身(76.4%)、乳幼児・小学生親子(75.4%)の順が多い。一方、「低下している」は、その他の世帯(42.9%)や中高年単身(41.7%)で多く、4割を超えている。



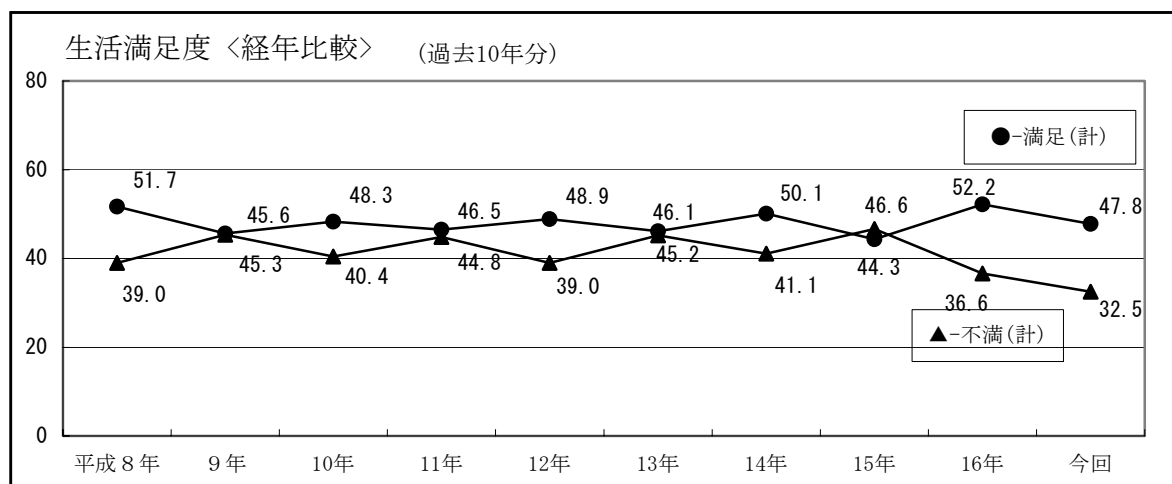
(2) 生活満足度



■ 『満足』は約5割、『不満』は3割を超えている。前年度と同程度『満足』が上回る

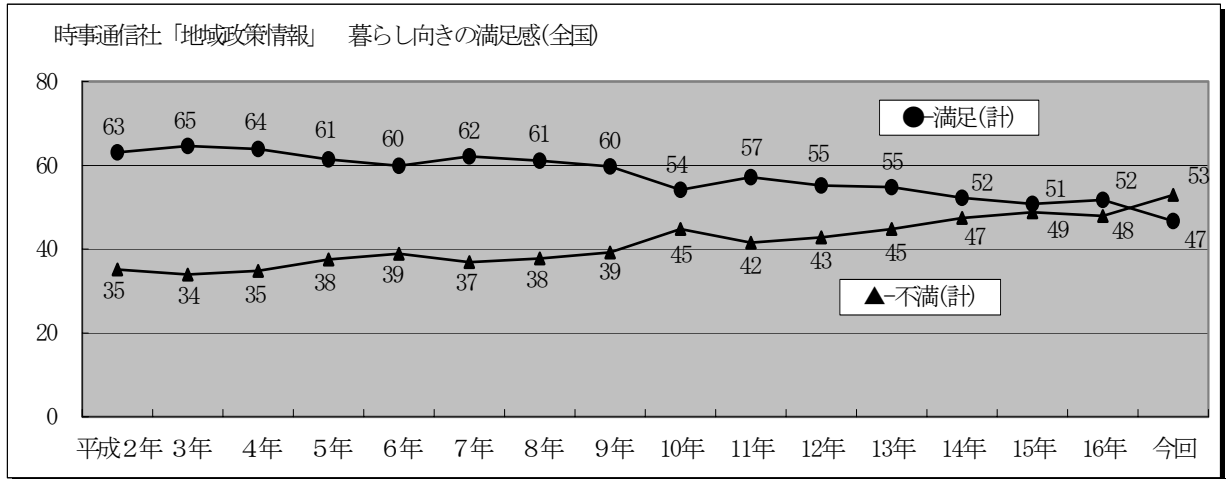
現在の生活にどの程度満足しているかを聞いたところ、「満足」(9.4%)と「まあ満足」(38.4%)を合わせた『満足』(47.8%)は約5割で、「やや不満」(23.1%)と「不満」(9.4%)を合わせた『不満』(32.5%)を15ポイント程度上回っている。

経年変化を見ると、『満足』、『不満』とも前年度から4ポイント以上減少したが、その差については、前年度同様、『満足』が『不満』を15ポイント程度上回っている。

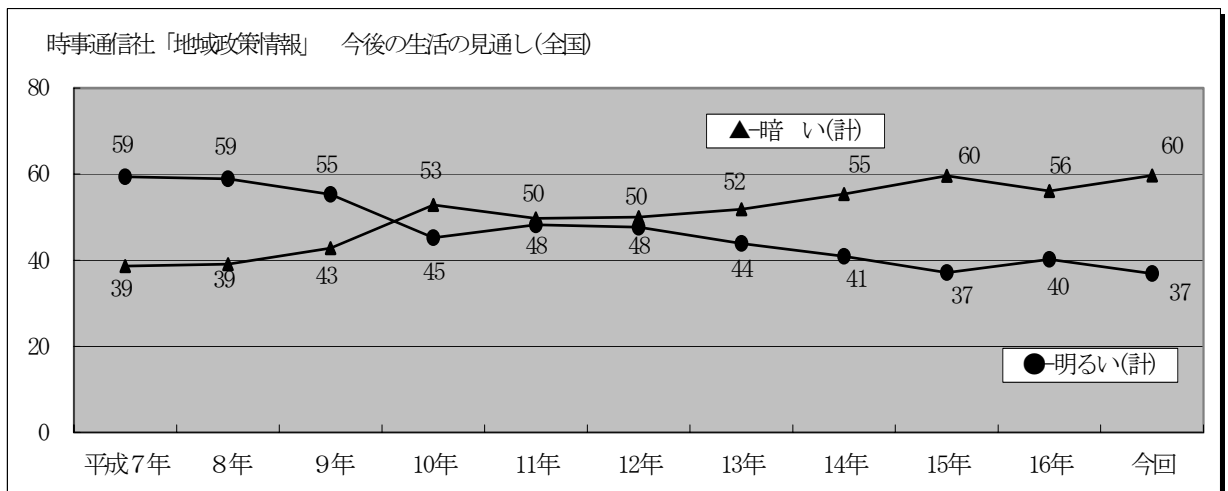


[参考]

全国調査(時事通信社「地域政策情報」)の経年変化をみると、平成17年6月時点では、前年度調査から『満足』は5ポイント減少し47%、『不満』は5ポイント増加して53%となり、『満足』と『不満』が逆転した。

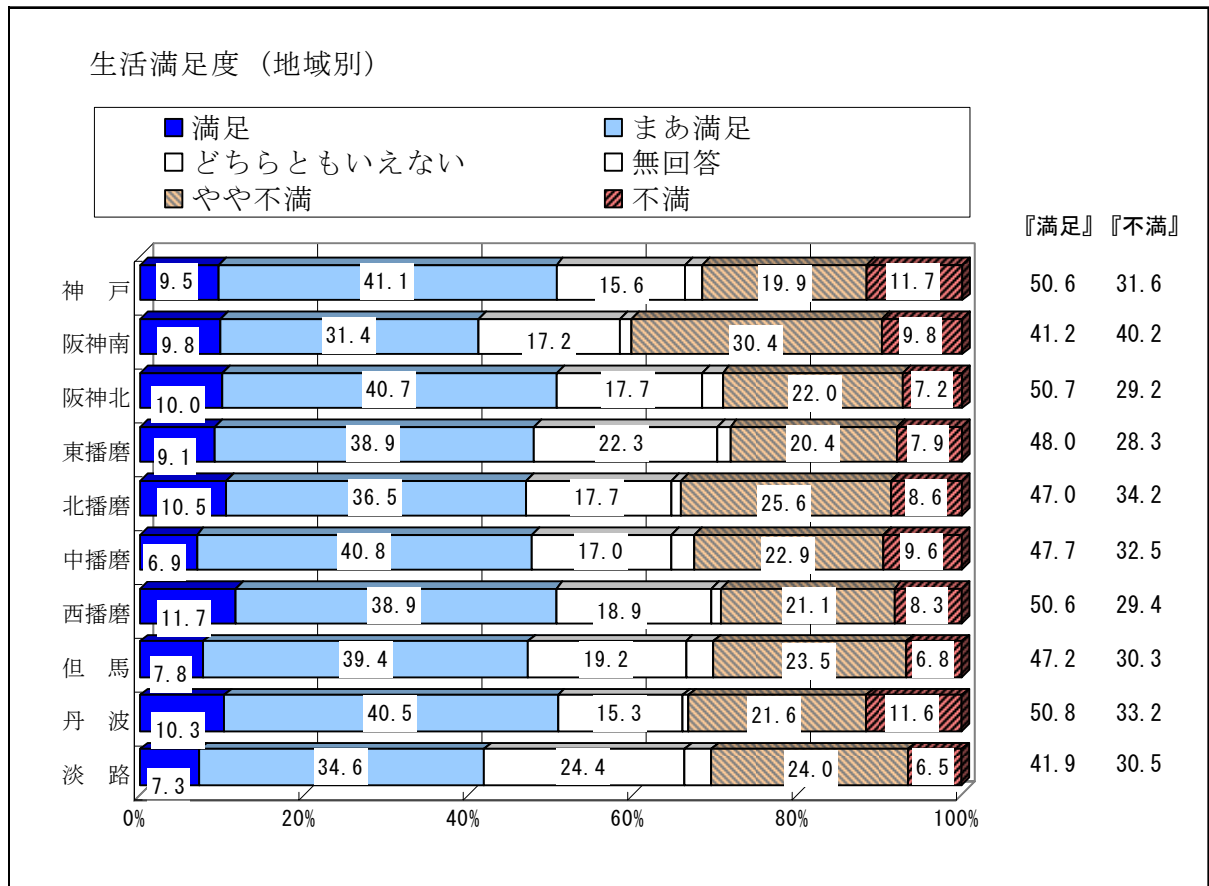


今後の見通しが明るいか暗いかを聞いた全国調査(時事通信社「地域政策情報」)をみると、前年度調査から『明るい』(37%)は3ポイント減少し、『暗い』(60%)は4ポイント増加した。

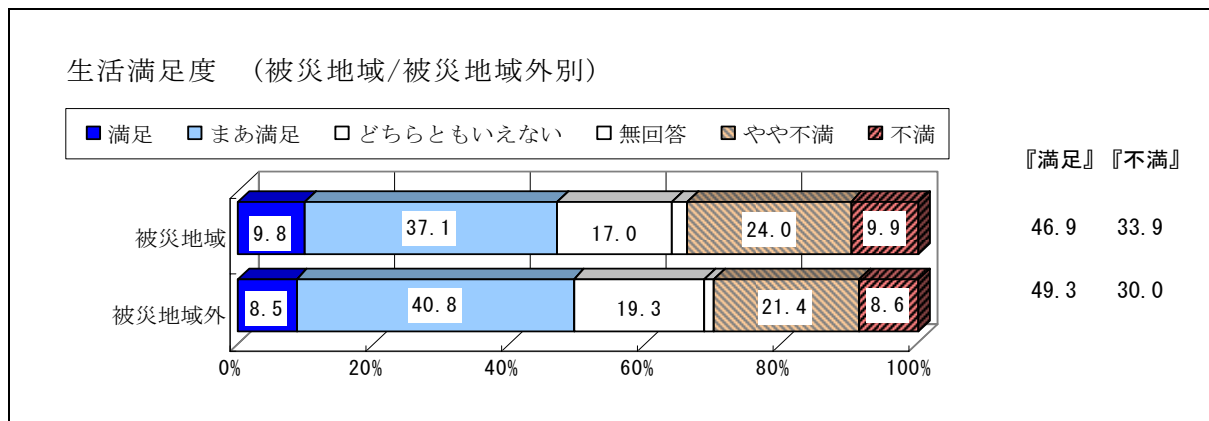


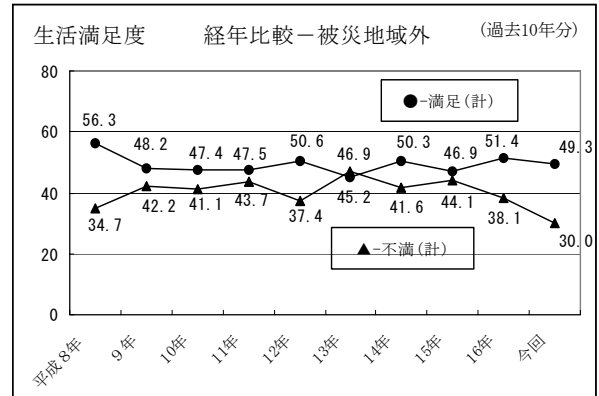
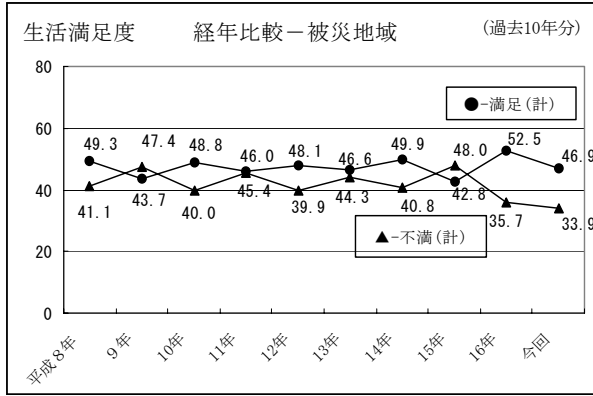
■ **地域別** 『満足』は、丹波、阪神北、神戸、西播磨で多く、阪神南で少ない

地域別でみると、『満足』は丹波(50.8%)、阪神北(50.7%)、神戸(50.6%)、西播磨(50.6%)で5割を超えて多い。一方、阪神南(41.2%)や淡路(41.9%)で少なく、特に、阪神南では『満足』と『不満』が拮抗している。



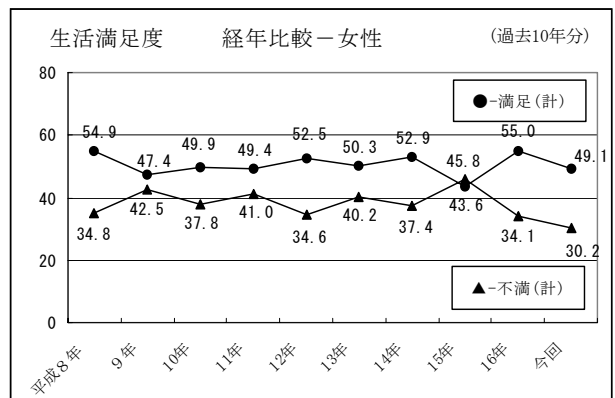
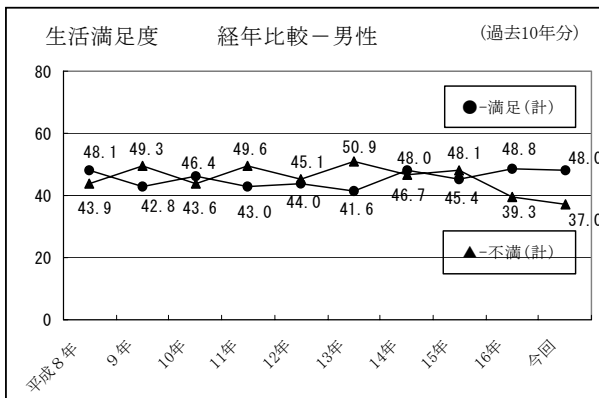
被災地域・被災地域外別でみると、『満足』は、被災地域外(49.3%)が被災地域(46.9%)を上回っている。時系列でみると、前年度調査から、被災地域では『満足』(46.9%)が6ポイント、『不満』(33.9%)が2ポイント減少し、被災地域外でも『満足』(49.3%)、『不満』(30.0%)とも減少した。



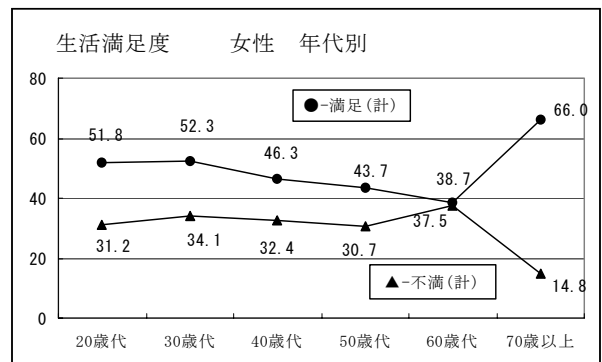
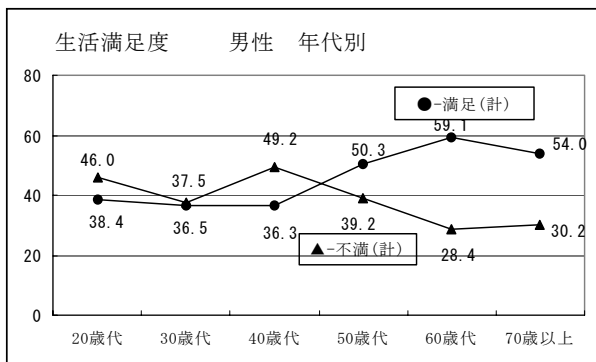


■ **性別、性・年代別** 女性は『満足』『不満』とも減少。『不満』が最も多いのは男性の40歳代

性別で見ると、男女とも『満足』が『不満』を上回っており、女性では前年度調査から『満足』は6ポイント、『不満』は4ポイント減少した。

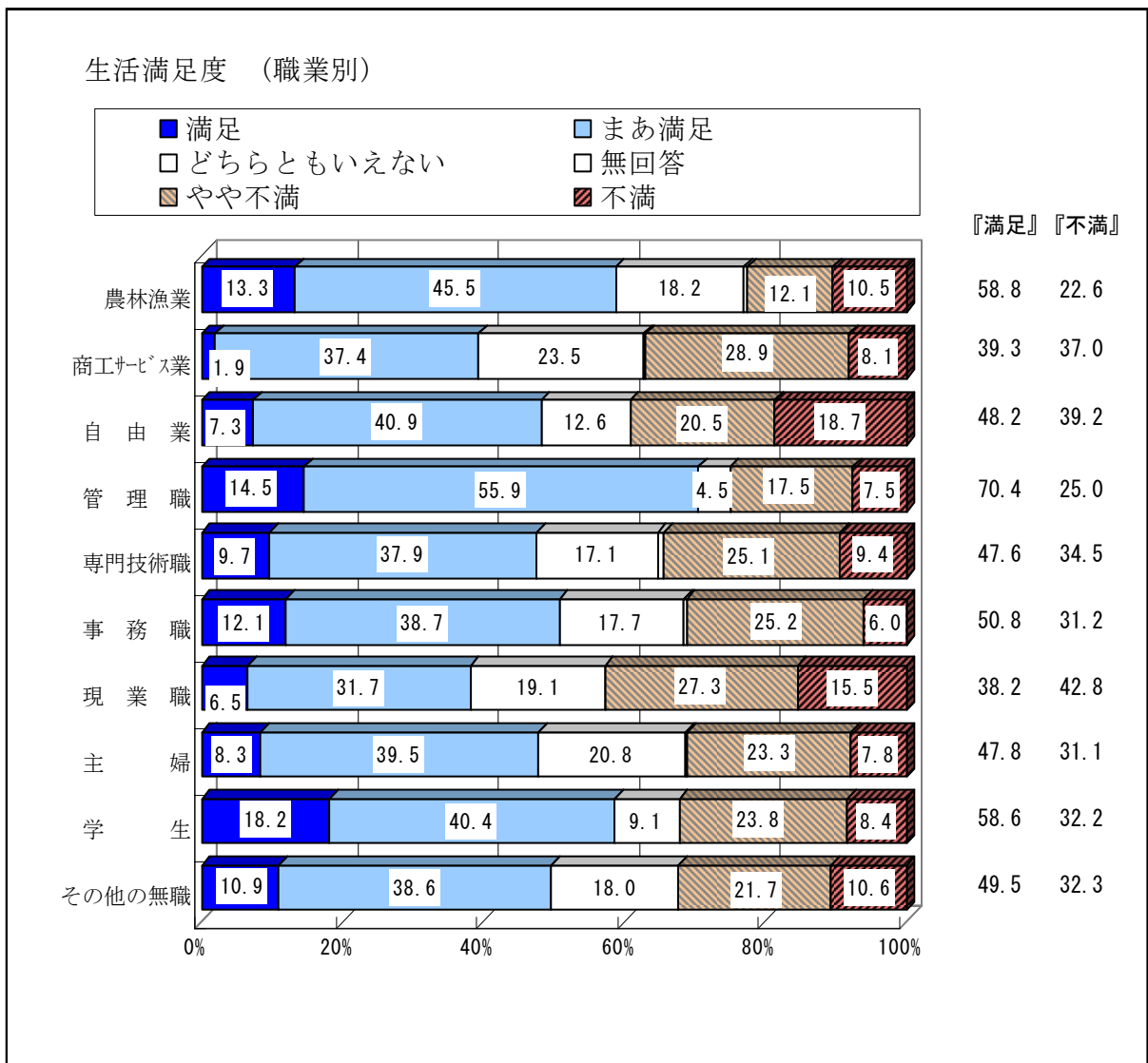


性・年代別で見ると、男性の50歳代以上で『満足』が『不満』を上回っているが、40歳代以下では『不満』が上回り、特に、40歳代では13ポイント上回っている。女性では、『不満』が最も多いのは60歳代で『満足』と拮抗しているが、他の年代では『満足』が大きく上回っている。



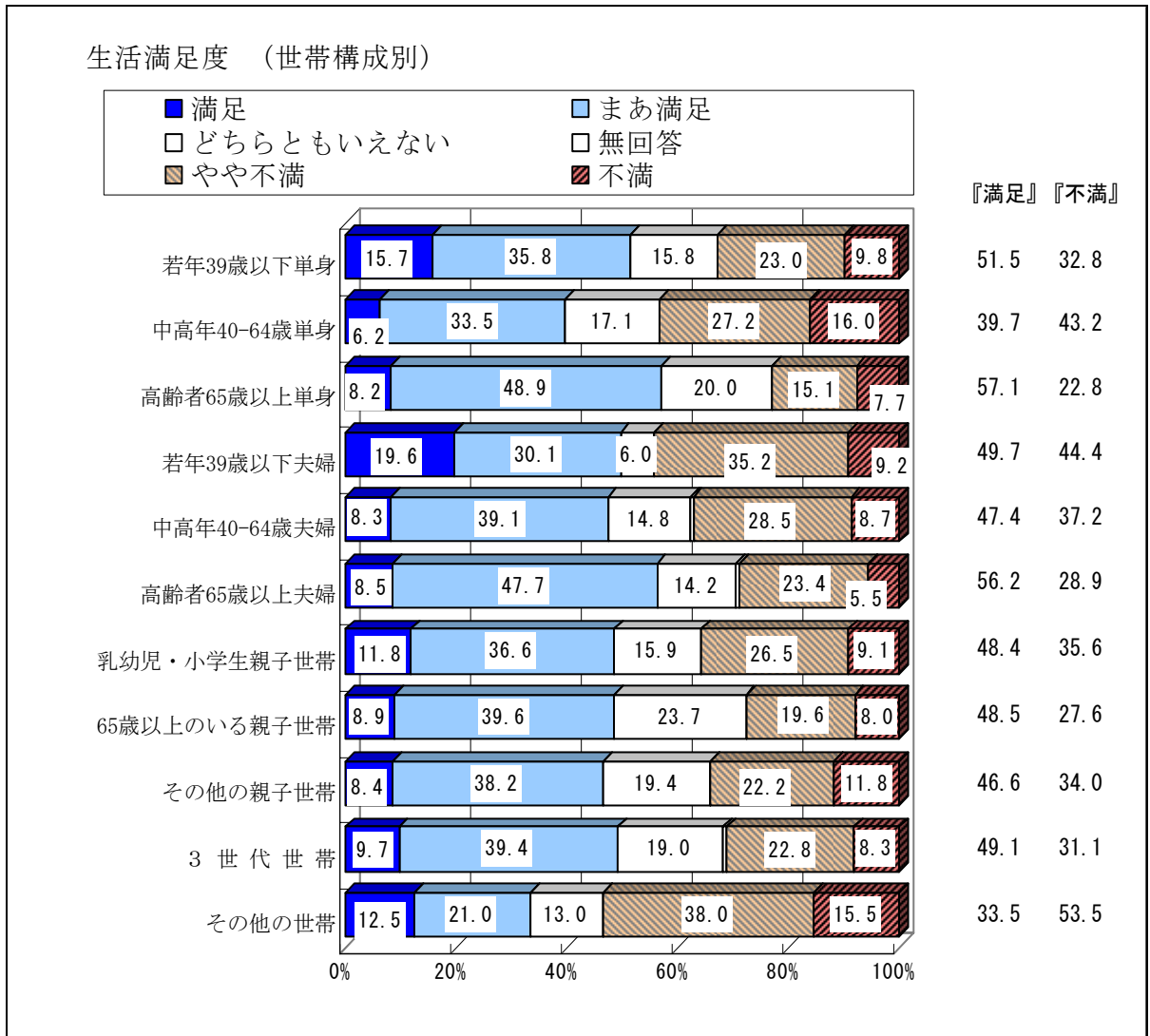
■ **職業別** 現業職で『不満』が多い

『満足』が最も多いのは管理職(70.4%)で7割を超えており、次いで、農林漁業(58.8%)、学生(58.6%)が多くなっている。一方、『不満』が最も多いのは現業職(42.8%)で4割を超えており、次いで自由業(39.2%)、商工サービス業(37.0%)と続く。現業職でのみ『不満』が『満足』(38.2%)を上回っている。



■ **世帯構成別** 『不満』はその他の世帯や若年夫婦などで多く、『満足』を上回る

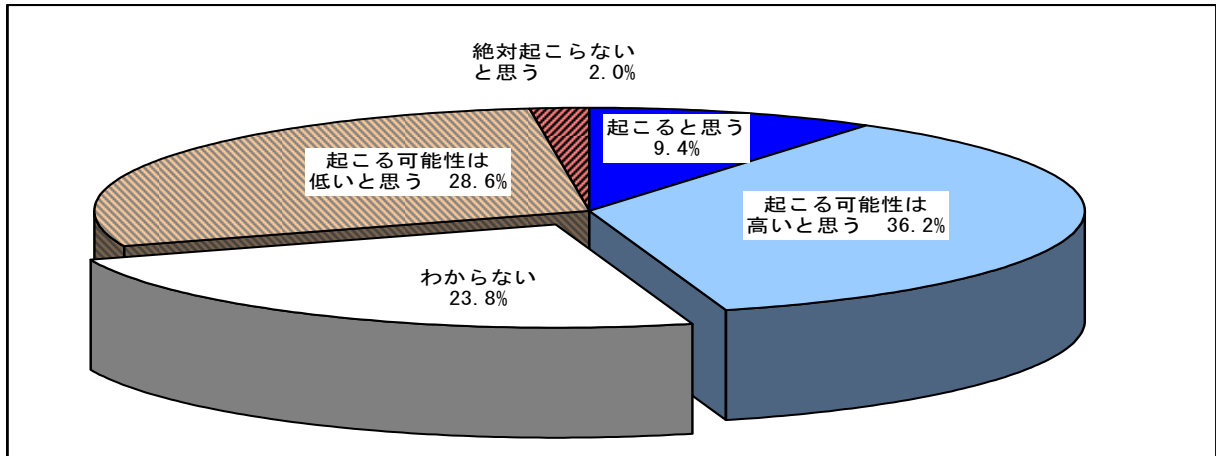
『満足』は、高齢者単身(57.1%)、高齢者夫婦(56.2%)で多く、5割台半ばを超えている。一方、『不満』は、その他の世帯(53.5%)、若年夫婦(44.4%)、中高年単身(43.2%)で多く、中高年単身では『満足』を4ポイント上回っている。



7 震災に対する意識

- 今後10年くらいの中に大地震が『起こると思う』が『起こらないと思う』を15ポイント程度上回る
- 『起こると思う』は、前年度調査から約3ポイント減少

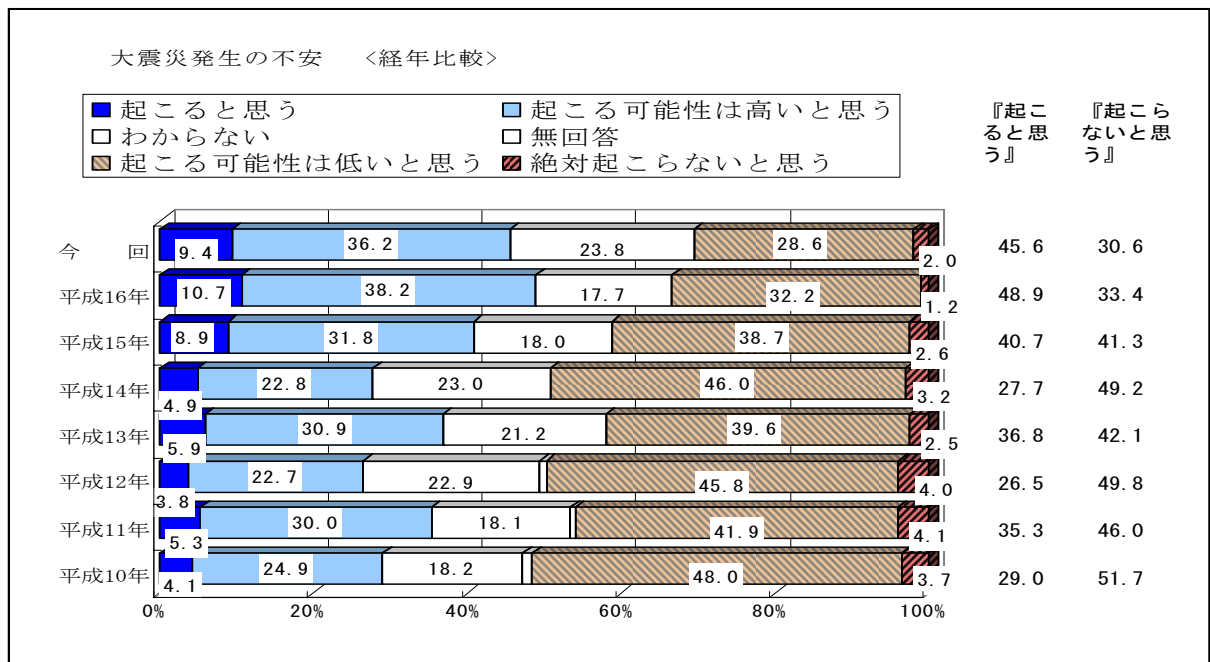
(1)大地震発生の不安



■ 『起こると思う』が4割台半ばを超えて、『起こらないと思う』を15ポイント上回る

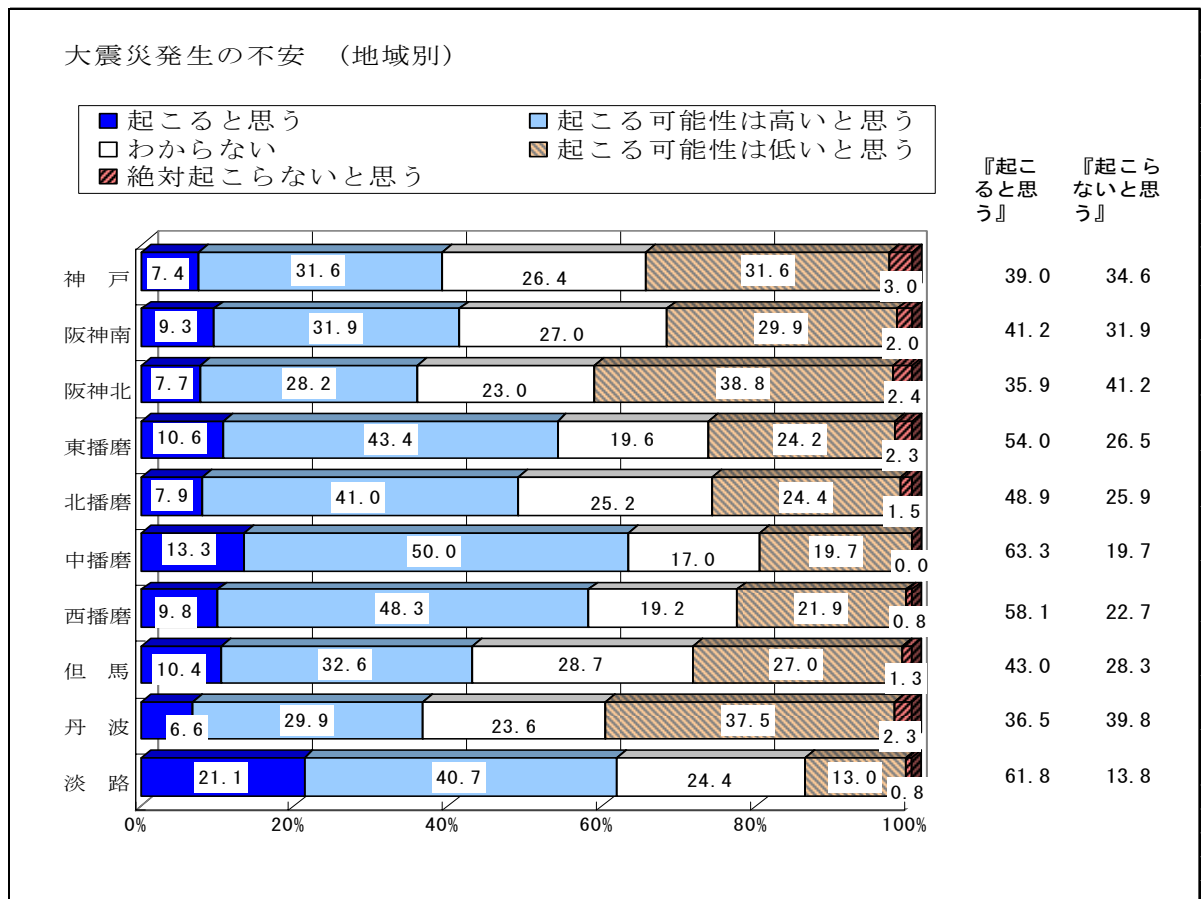
今後10年くらいの中に大地震が起こると思うか聞いたところ、『起こらないと思う』（「起こる可能性は低いと思う」(28.6%)＋「絶対に起こらないと思う」(2.0%)）は3割を超え(30.6%)ているのに対し、『起こると思う』（「起こると思う」(9.4%)＋「起こる可能性は高いと思う」(36.2%)）は4割台半ば(45.6%)を超えて、『起こらないと思う』を15ポイント上回っている。

経年変化を見ると、『起こると思う』は過去最高となった前年度調査から3ポイント減少した。

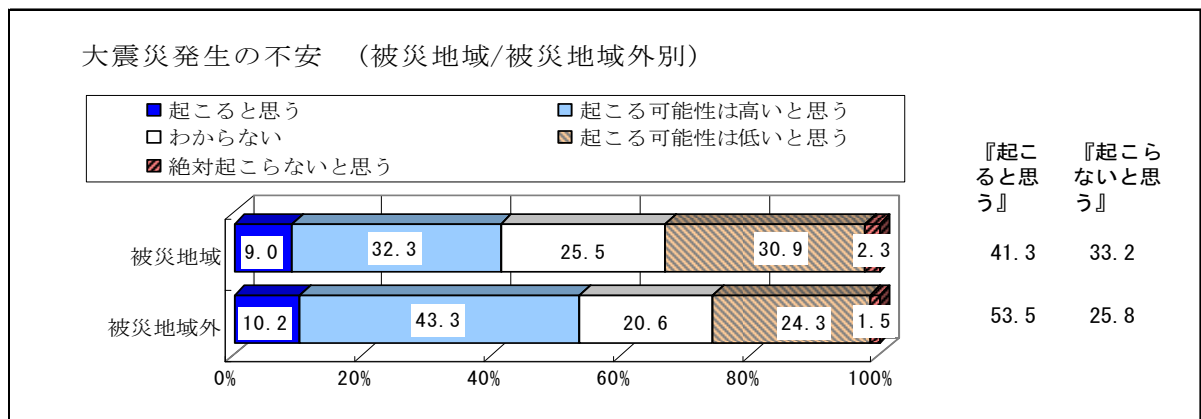


■ **地域別** 『起こると思う』は中播磨、淡路、西播磨で多い

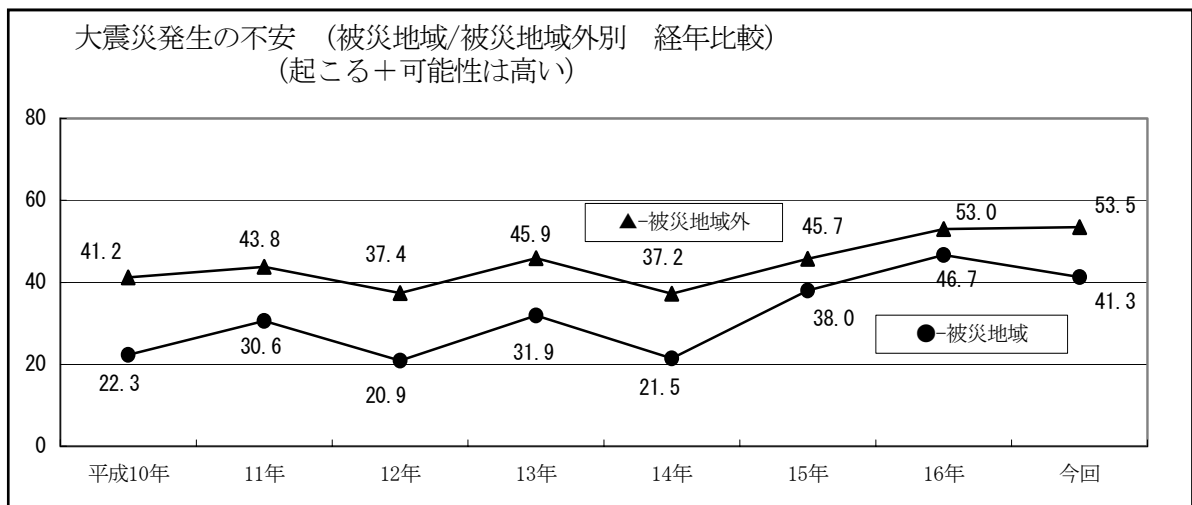
地域別でみると、『起こると思う』が最も多いのは中播磨(63.3%)で6割を超えており、淡路(61.8%)、西播磨(58.1%)が6割前後、東播磨(54.0%)が5割台半ばで続いている。一方、『起こらないと思う』は、阪神北(41.2%)や丹波(39.8%)で4割前後となっており、両地域とも『起こると思う』を上回っている。



被災地域と被災地域外別でみると、両地域とも『起こると思う』が『起こらないと思う』を上回り、『起こると思う』では、被災地域外(53.5%)が被災地域(41.3%)を12ポイント程度上回っている。



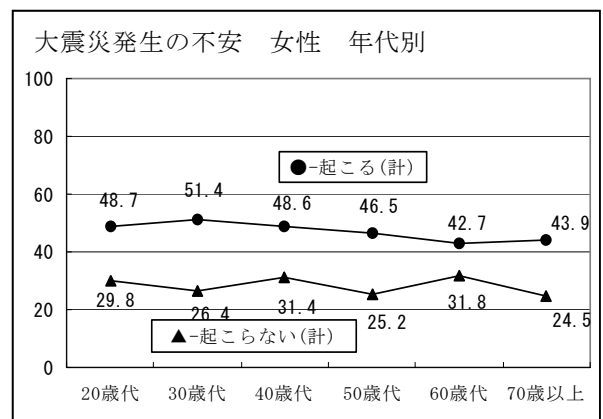
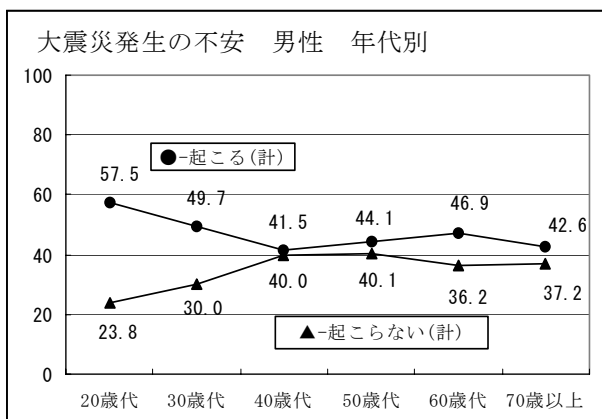
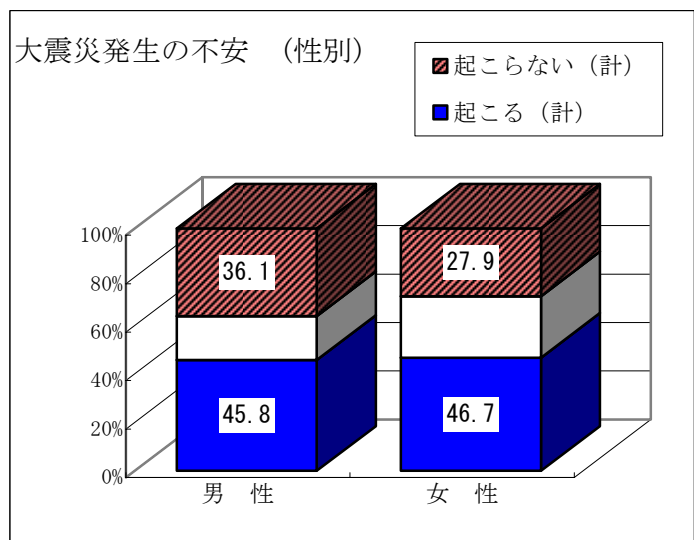
『起こると思う』を時系列でみると、被災地域外(53.5%)では昨年を上回り、過去最高となった。一方、被災地域(41.3%)では昨年度調査から5ポイント減少している。



■ **性別、性・年代別** 『起こると思う』は男性の20歳代や30歳代が多い

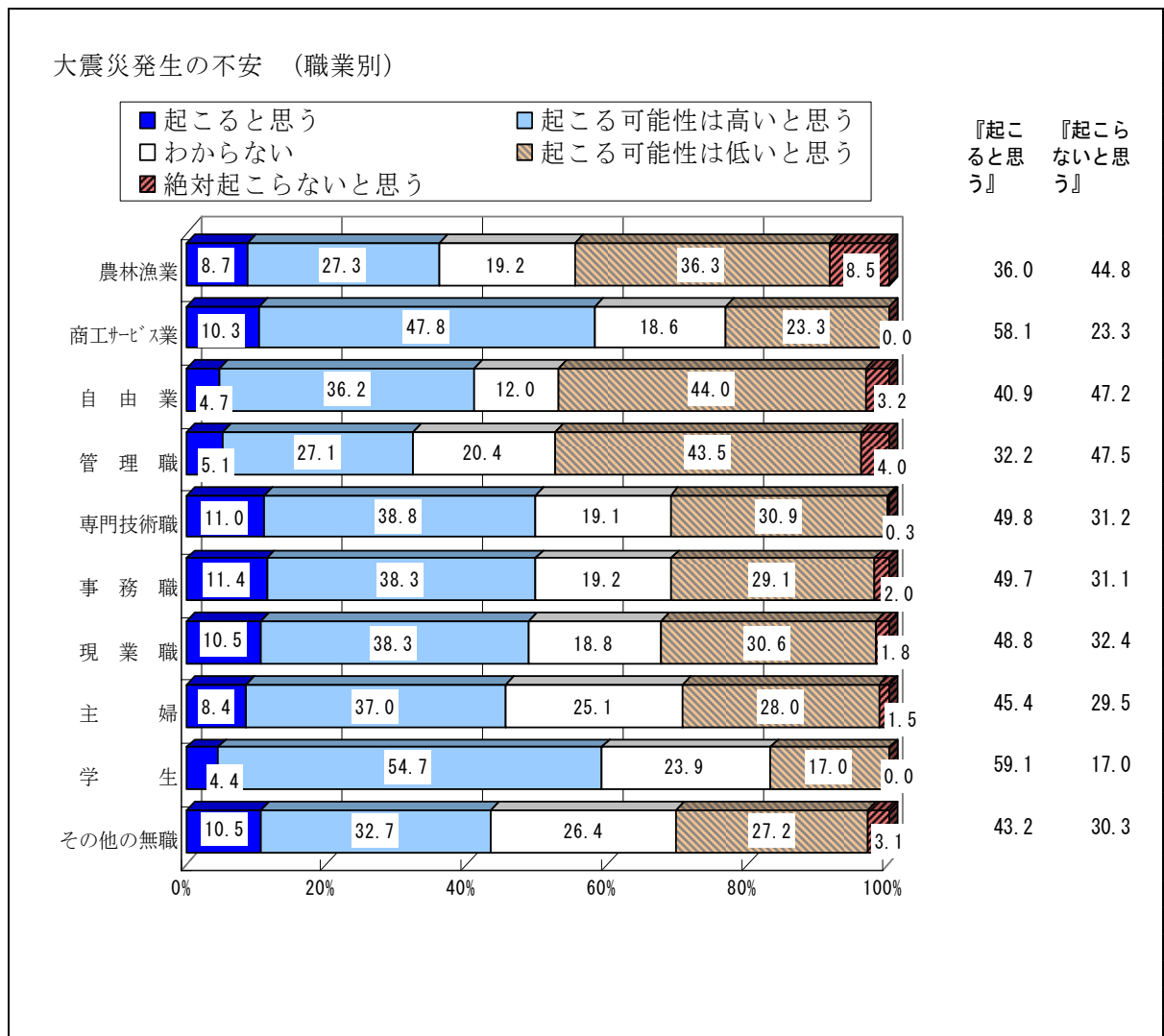
性別では、『起こると思う』が、男女とも『起こると思わない』を上回り、男性(45.8%)より女性(46.7%)が多い。

『起こると思う』は、男性では20歳代や30歳代が多く、『起こると思わない』を大きく上回っている。女性は、いずれの年代でも『起こると思う』が大きく上回っている。



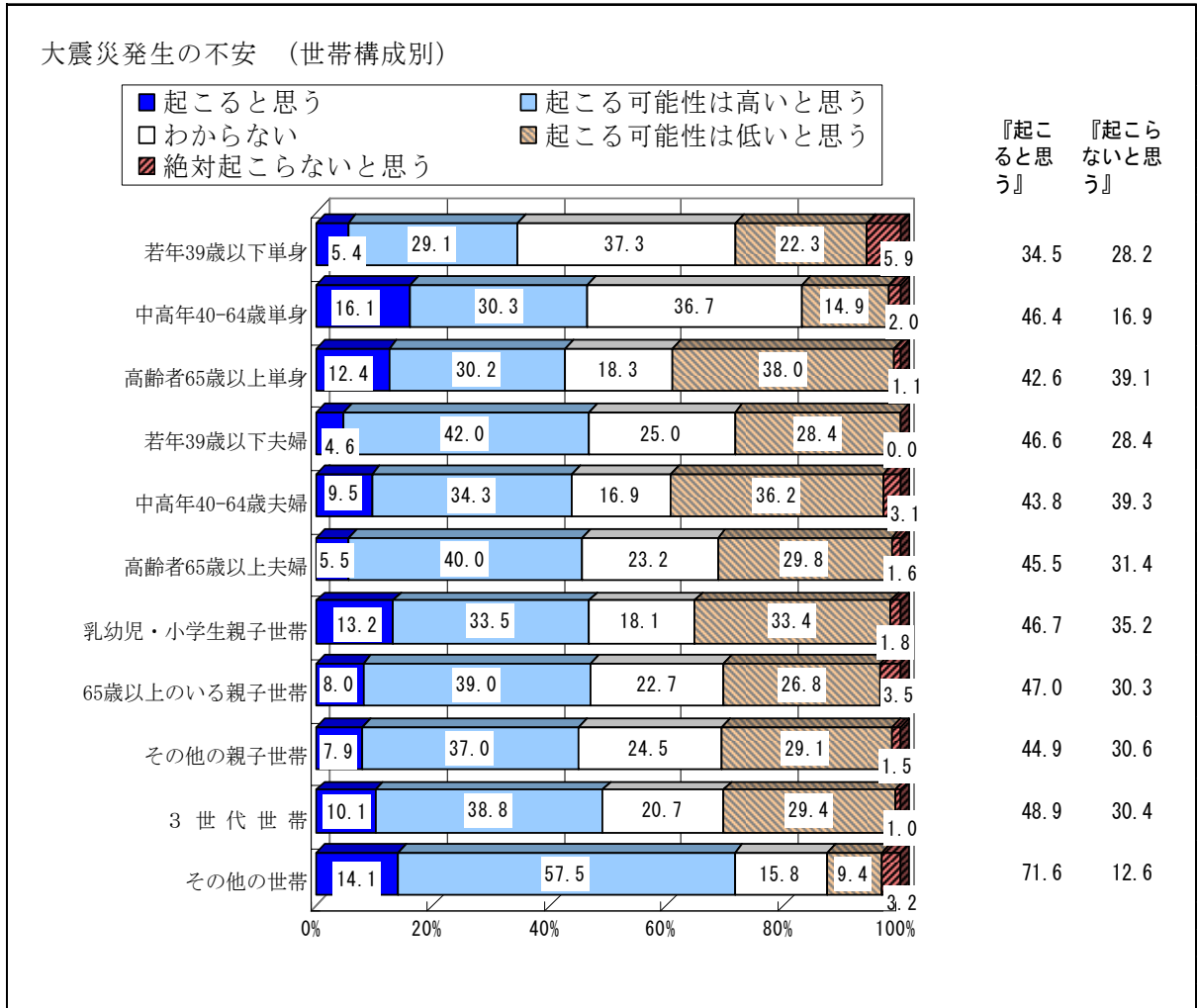
■ **職業別** 『起こると思う』が最も多いのは学生。次いで商工サービス業が多い

職業別でみると、『起こると思う』が最も多いのは学生(59.1%)で約6割となっており、商工サービス業(58.1%)が続いている。一方、管理職(32.2%)や農林漁業(36.0%)では3割台と少なくなっており、これらに自由業を加えた3職種では『起こらないと思う』が『起こると思う』を上回っている。



■ **世帯構成別** 『起こると思う』は、その他の世帯で多い

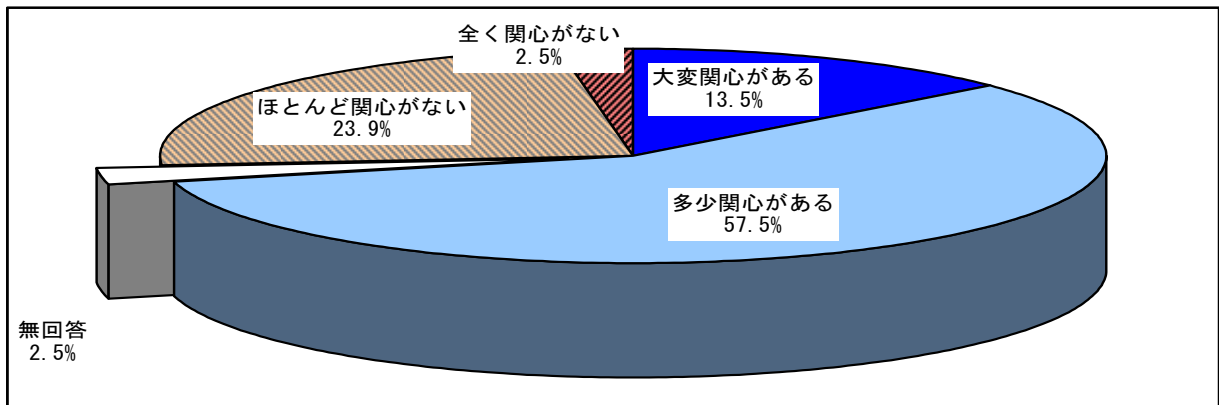
世帯構成別でみると、『起こると思う』はその他の世帯(71.6%)で7割強と際立って多く、若年単身(34.5%)では3割代半ばと少ない。一方、『起こらないと思う』は、中高年夫婦(39.3%)や高齢者単身(39.1%)で約4割と多くなっている。



8 県政への意識

- 『関心がある』（「大変関心がある」＋「多少関心がある」）は71.0%を占めるが、前年度調査と大きな差はない
- 県政への評価は、「震災からの復興対策」「防災対策の充実」「国際交流や協力」「交通網の整備」「県政の広報・広聴」等で評価が高いが、「雇用の安定と職業能力の開発」「学校教育の充実」「病気の予防や医療施設の充実」等では努力が必要としている

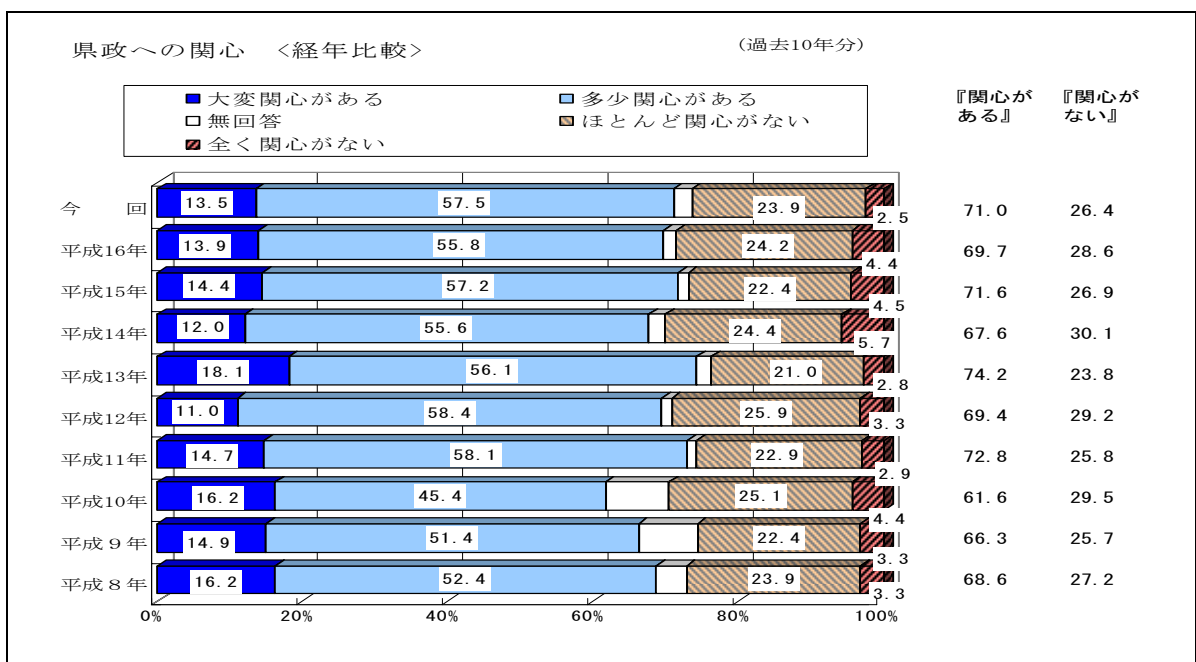
(1) 県政への関心



■ 『関心がある』は7割を超える

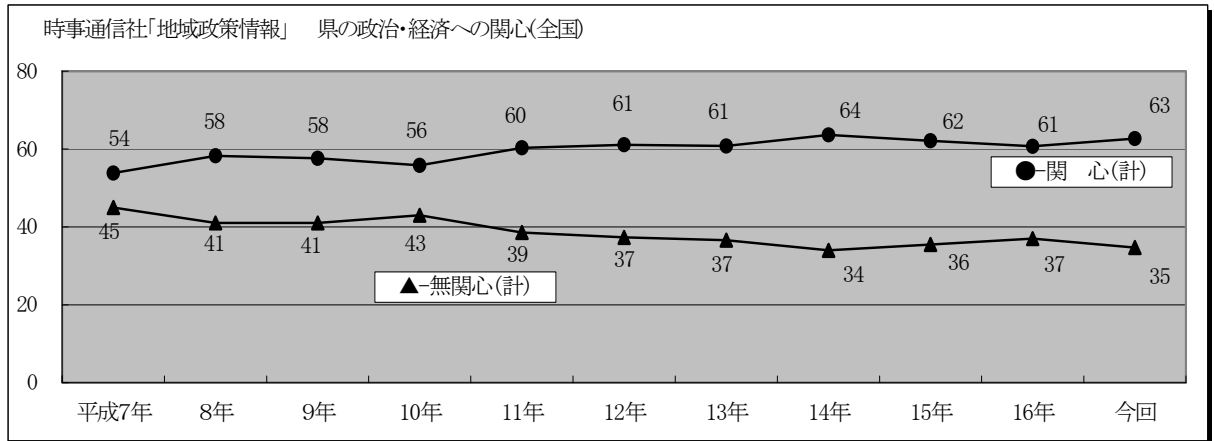
県政に関心があるかを聞いたところ、『関心がある』（「大変関心がある」(13.5%)＋「多少関心がある」(57.5%))は71.0%、『関心がない』（「ほとんど関心がない」(23.9%)＋「全く関心がない」(2.5%))は26.4%となっている。

経年変化を見ると、『関心がある』（71.0%）は前年度調査から1ポイント増加したが、例年の水準とほとんど変わらない。



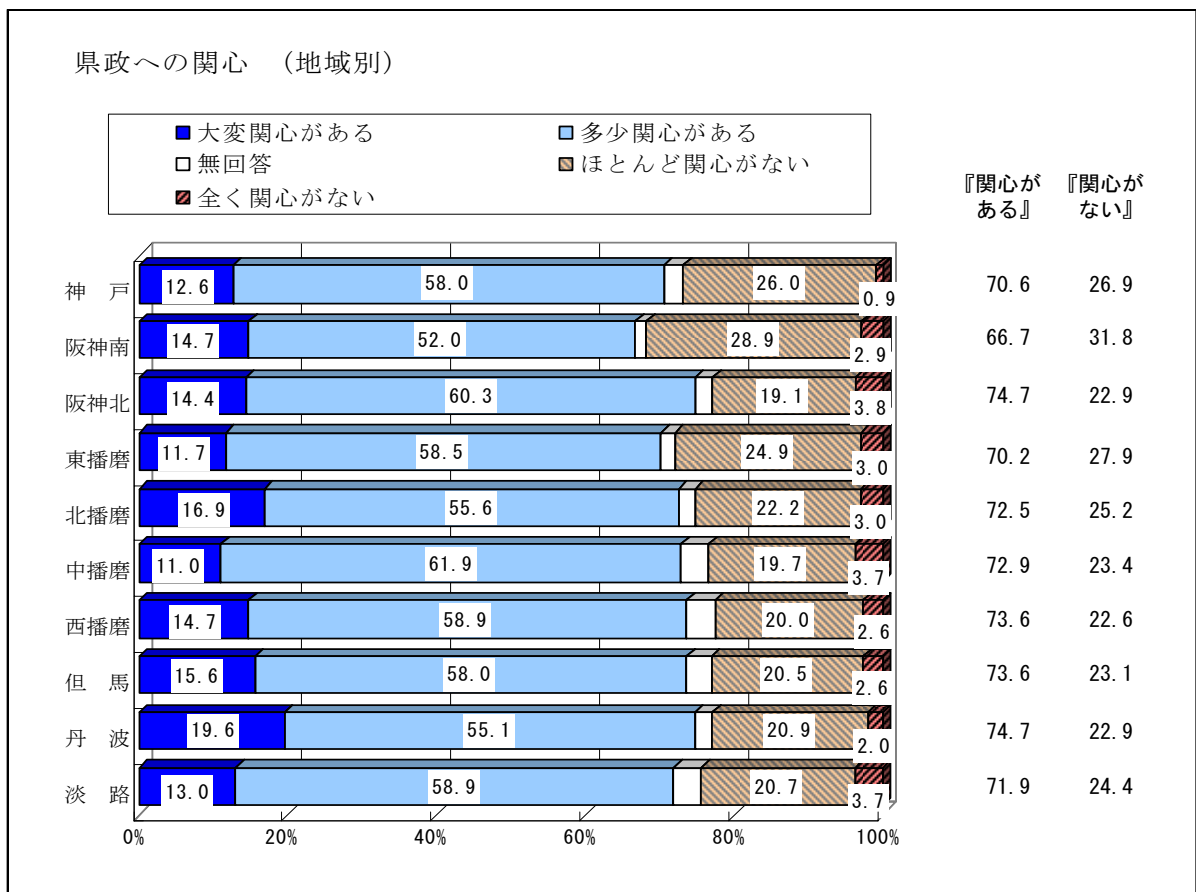
[参考]

全国調査(時事通信社「地域政策情報」自県の政治・経済への関心)では前年度調査から『関心』が2ポイント増加して63%、『無関心』が2ポイント減少し35%である。本調査の『関心がある』(71.0%)は全国調査結果を8ポイント程度上回っている。



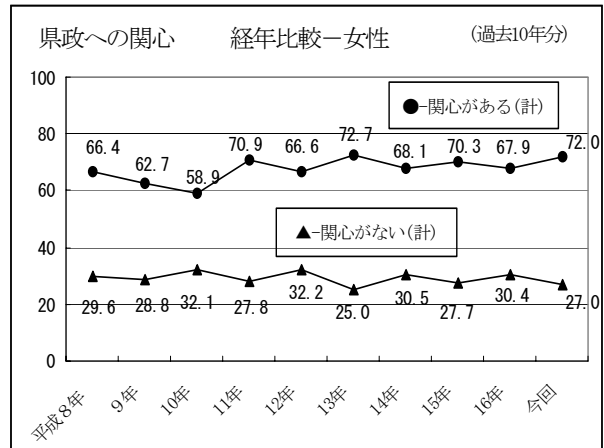
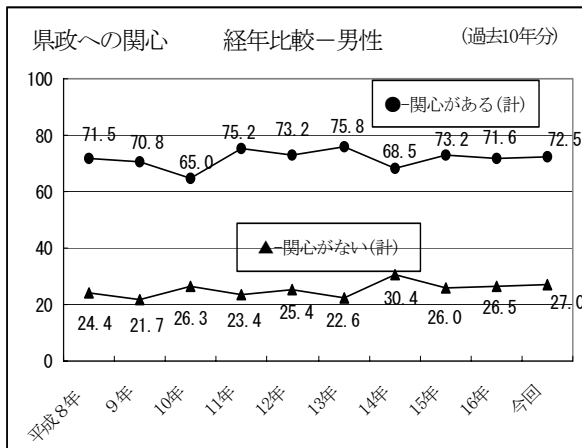
■ **地域別** 『関心がある』は阪神北、丹波、西播磨、但馬などで多い

地域別でみると、『関心がある』は、阪神北(74.7%)、丹波(74.7%)、西播磨(73.6%)、但馬(73.6%)などで多く、『関心がない』は阪神南(31.8%)で3割を超えているが、大きな差はない。

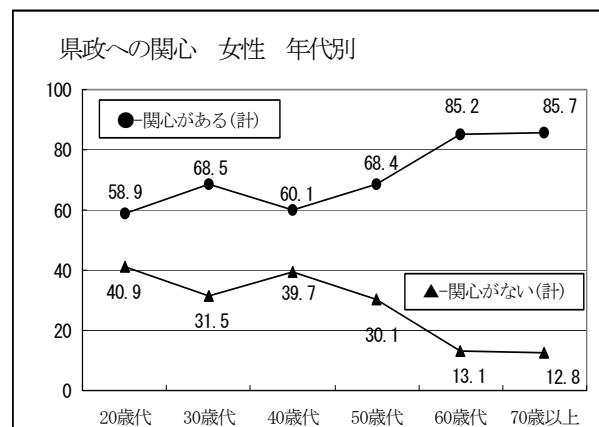
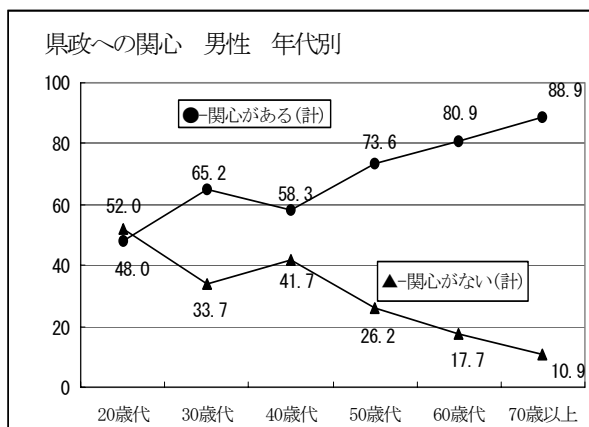


■ **性別・性・年代別** 『関心がある』は男女とも年代の高い層で多い

性別で見ると、『関心がある』は男性(72.5%)と女性(72.0%)でほとんど差はなく、男女とも『関心がない』を大きく上回っている。前年度調査と比べると、男性ではほとんど変わらないが、女性では『関心がある』が4ポイント増加している。

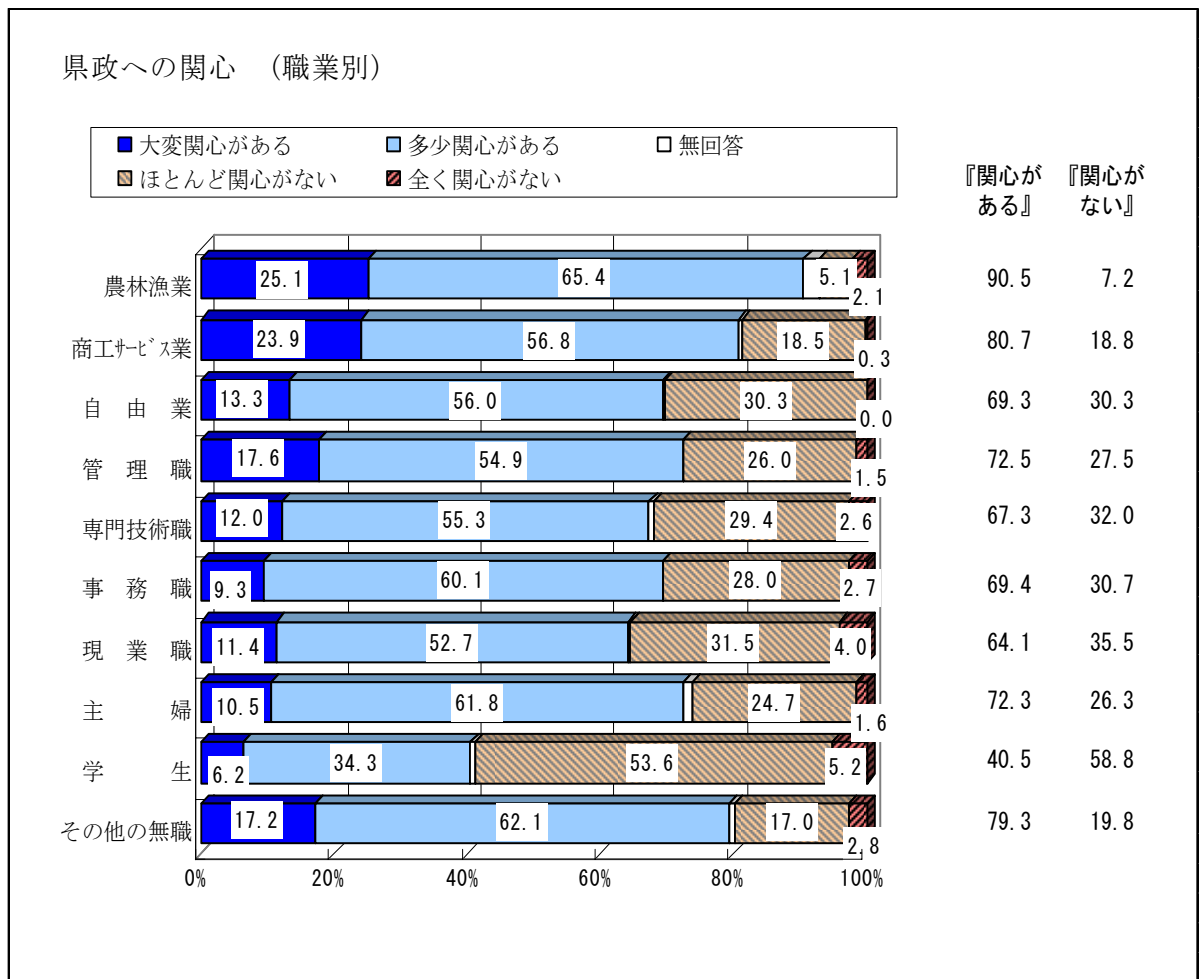


性・年代別で見ると、『関心がある』は男女とも年代の高い層で多く、男女とも60歳代以上では8割を超えている。なお、男性の20歳代のみ『関心がない』(52.0%)が『関心がある』(48.0%)を上回っている。



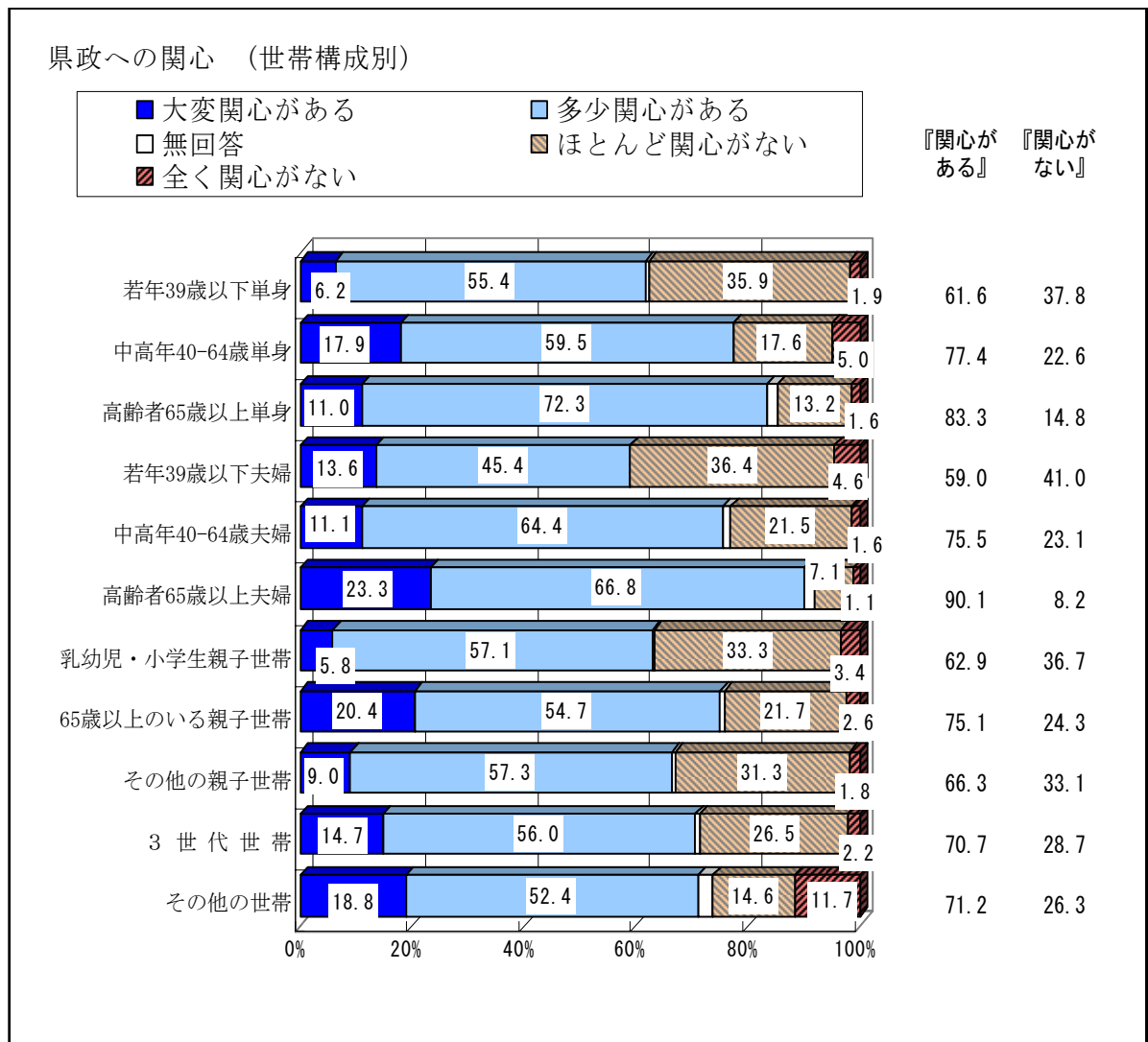
■ **職業別** 『関心がある』が最も多いのは農林漁業

職業別でみると、『関心がある』が最も多いのは農林漁業(90.5%)で9割を超えている。次いで、商工サービス業(80.7%)やその他の無職(79.3%)で8割前後と多く、管理職(72.5%)、主婦(72.3%)と続いている。一方、『関心がない』は学生(58.8%)が多く、『関心がある』(40.5%)を大きく上回っている。

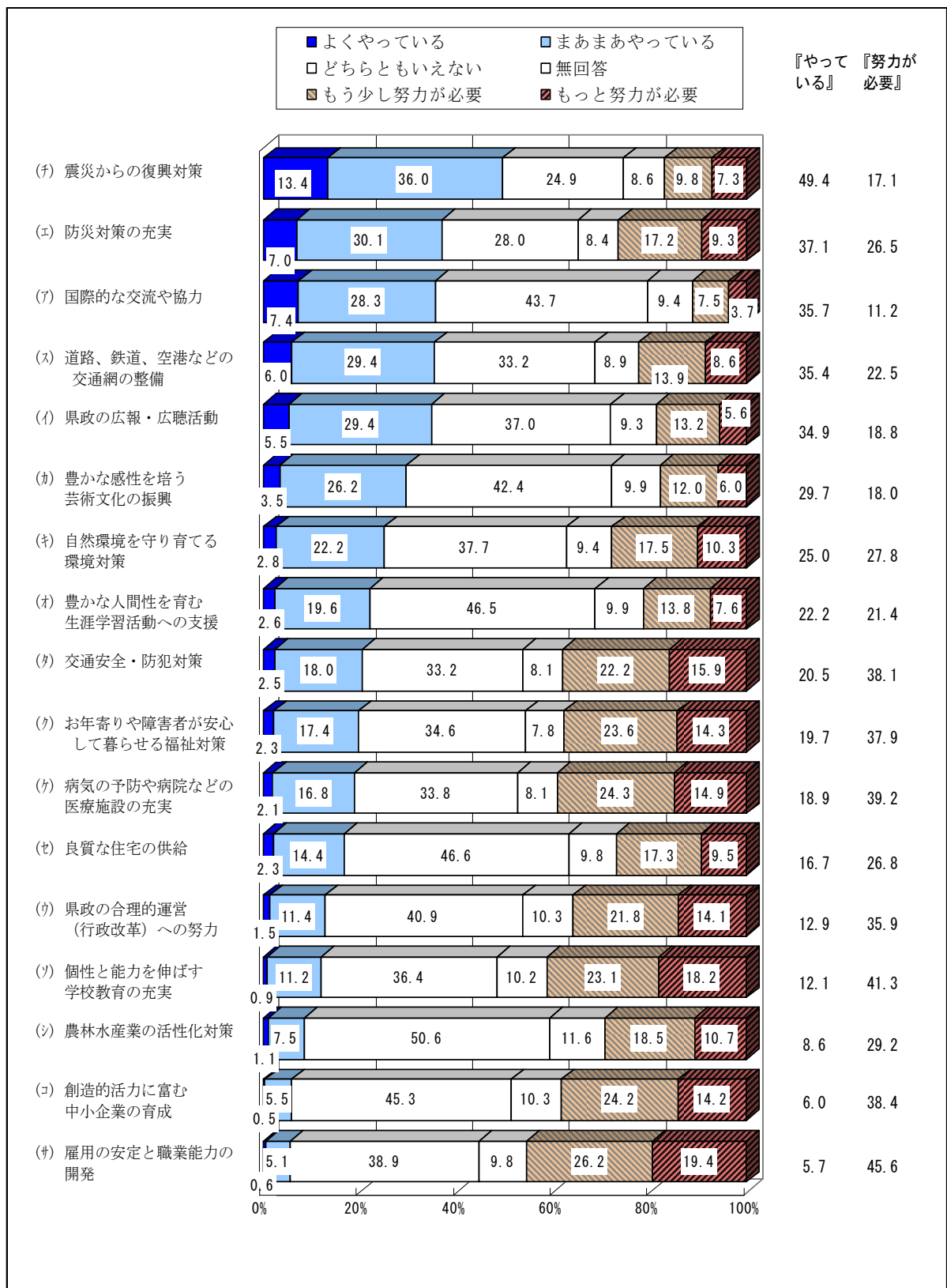


■ **世帯構成別** 『関心がある』は高齢者夫婦が多い

世帯構成別でみると、『関心がある』は高齢者65歳以上夫婦(90.1%)を筆頭に、構成員に中高年齢者を含んでいる世帯で多くなっている。



(2) 県政への評価



■ 「震災からの復興対策」を約5割が評価

県政の主要17項目の評価を項目ごとに「よくやっている」から「もっと努力が必要」の5段階評価の形で聞いた。

『やっている』（「よくやっている」＋「まあまあやっている」）が最も多いのは、「震災からの復興対策」（49.4%）で約5割となっており、次いで、「防災対策の充実」（37.1%）、「国際的な交流や協力」（35.7%）、「交通網の整備」（35.4%）が多い。

一方、『努力が必要』（「もう少し努力が必要」＋「もっと努力が必要」）は、「雇用の安定」（45.6%）や「学校教育の充実」（41.3%）、「病気の予防や医療施設の充実」（39.2%）、「中小企業の育成」（38.4%）、「交通安全・防犯対策」（38.1%）、「福祉対策」（37.9%）で多くなっている。これらを含め、17項目中10項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。

やっている（計）-前年度調査との比較	増減	努力が必要（計）-前年度調査との比較	増減
(e) 防災対策の充実	7.9	(g) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	2.5
(f) 震災からの復興対策	4.4	(i) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	2.3
(g) 交通安全・防犯対策	4.0	(c) 良質な住宅の供給	-0.2
(h) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	2.8	(f) 国際的な交流や協力	-0.2
(7) 国際的な交流や協力	2.7	(k) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-0.5
(d) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	1.4	(h) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-0.9
(k) 自然環境を守り育てる環境対策	1.2	(s) 農林水産業の活性化対策	-1.2
(x) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.2	(i) 県政の広報・広聴活動	-1.6
(s) 農林水産業の活性化対策	0.9	(z) 創造的活力に富む中小企業の育成	-2.8
(h) 雇用の安定と職業能力の開発	0.7	(x) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-2.8
(z) 創造的活力に富む中小企業の育成	0.4	(k) 自然環境を守り育てる環境対策	-3.1
(c) 良質な住宅の供給	-0.3	(d) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	-3.4
(g) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-0.7	(q) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-5.0
(q) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.0	(f) 震災からの復興対策	-5.2
(i) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	-1.5	(g) 交通安全・防犯対策	-6.0
(i) 県政の広報・広聴活動	-2.3	(e) 防災対策の充実	-6.5
(k) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-3.3	(h) 雇用の安定と職業能力の開発	-7.9

『やっている』では、前年度調査から「防災対策の充実」で7.9ポイント増加、次いで「震災からの復興対策」で4.4ポイント、「交通安全・防犯対策」で4.0ポイント増加するなど11項目で増加した。『やっている』が前年度から減少した7項目のうち減少幅が最も大きいのは「病気の予防や医療施設の充実」で、3.3ポイントである。

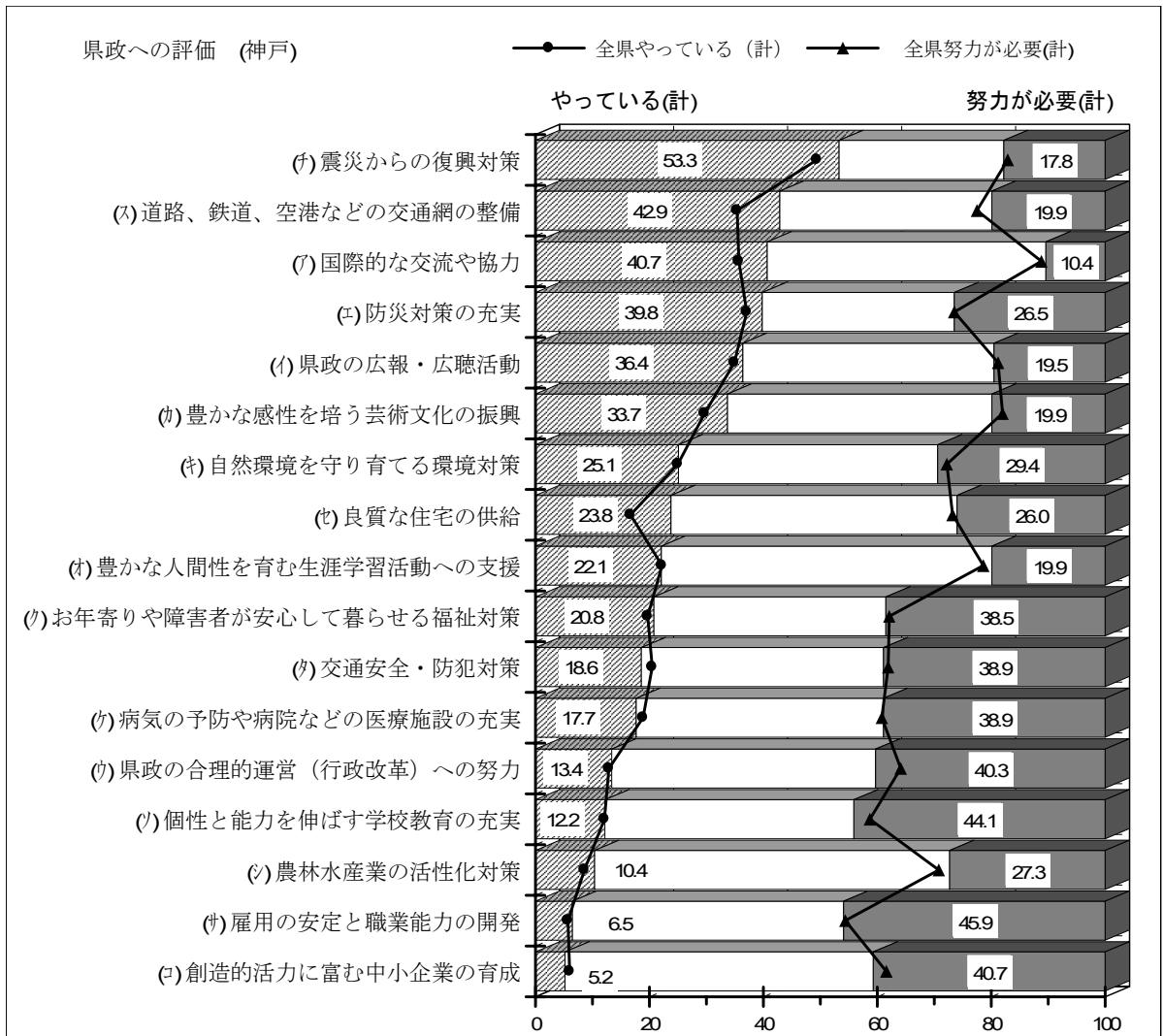
一方、『努力が必要』では、前年度調査から増加したのは「県政の合理的運営への努力」（2.5ポイント）、「学校教育の充実」（2.3ポイント）の2項目のみで、「雇用の安定」（-7.9ポイント）、「防災対策の充実」（-6.5ポイント）、「交通安全・防犯対策」（-6.0ポイント）をはじめ、他の項目では減少した。

以下、県政への評価を地域ごとに述べる。

神戸

『やっている』が最も多いのは、「震災からの復興対策」(53.3%)で5割を超えており、他を10ポイント以上上回っている。以下、「交通網の整備」(42.9%)、「国際的な交流や協力」(40.7%)、「防災対策の充実」(39.8%)、「県政の広報・広聴活動」(36.4%)の順となっている。

一方、『努力が必要』は、「雇用の安定」(45.9%)、「学校教育の充実」(44.1%)、「中小企業の育成」(40.7%)、「県政の合理的運営への努力」(40.3%)、「交通安全・防犯対策」(38.9%)、「病気の予防や医療施設の充実」(38.9%)、「福祉対策」(38.5%)の順となっており、これらを含め10項目で『やっている』を上回っている。



『やっている』で神戸が全県平均を上回っているのは、「交通網の整備」(7.5ポイント)、「良質な住宅の供給」(7.1ポイント)、「国際的な交流や協力」(5.0ポイント)、「芸術文化の振興」(4.0ポイント)、「震災からの復興対策」(3.9ポイント)など13項目となっている。

一方、『努力が必要』で全県平均を上回っているのは、「県政の合理的運営への努力」(4.4ポイント)、「学校教育の充実」(2.8ポイント)、「中小企業の育成」(2.3ポイント)など11項目となっている。

やっている（計）－全県結果との比較	比率の差
(x) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	7.5
(セ) 良質な住宅の供給	7.1
(7) 国際的な交流や協力	5.0
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	4.0
(フ) 震災からの復興対策	3.9
(エ) 防災対策の充実	2.7
(シ) 農林水産業の活性化対策	1.8
(4) 県政の広報・広聴活動	1.5
(ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.1
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	0.8
(ウ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	0.5
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	0.1
(ノ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	0.1
(ス) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	-0.1
(ニ) 創造的活力に富む中小企業の育成	-0.8
(ケ) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.2
(ク) 交通安全・防犯対策	-1.9

努力必要（計）－全県結果との比較	比率の差
(ウ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	4.4
(ノ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	2.8
(ニ) 創造的活力に富む中小企業の育成	2.3
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	1.9
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	1.6
(ク) 交通安全・防犯対策	0.8
(4) 県政の広報・広聴活動	0.7
(フ) 震災からの復興対策	0.7
(ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.6
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	0.3
(エ) 防災対策の充実	0.0
(ケ) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-0.3
(7) 国際的な交流や協力	-0.8
(セ) 良質な住宅の供給	-0.8
(ス) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	-1.5
(シ) 農林水産業の活性化対策	-1.9
(x) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-2.6

『やっている』で前年度調査から増加したのは、「防災対策の充実」（11.7ポイント）、「交通網の整備」（9.3ポイント）、「芸術文化の振興」（5.6ポイント）など13項目となっている。

一方、『努力が必要』で前年度調査から増加したのは、「県政の合理的運営への努力」（8.7ポイント）、「学校教育の充実」（8.1ポイント）、「環境対策」（4.0ポイント）など8項目となっている。

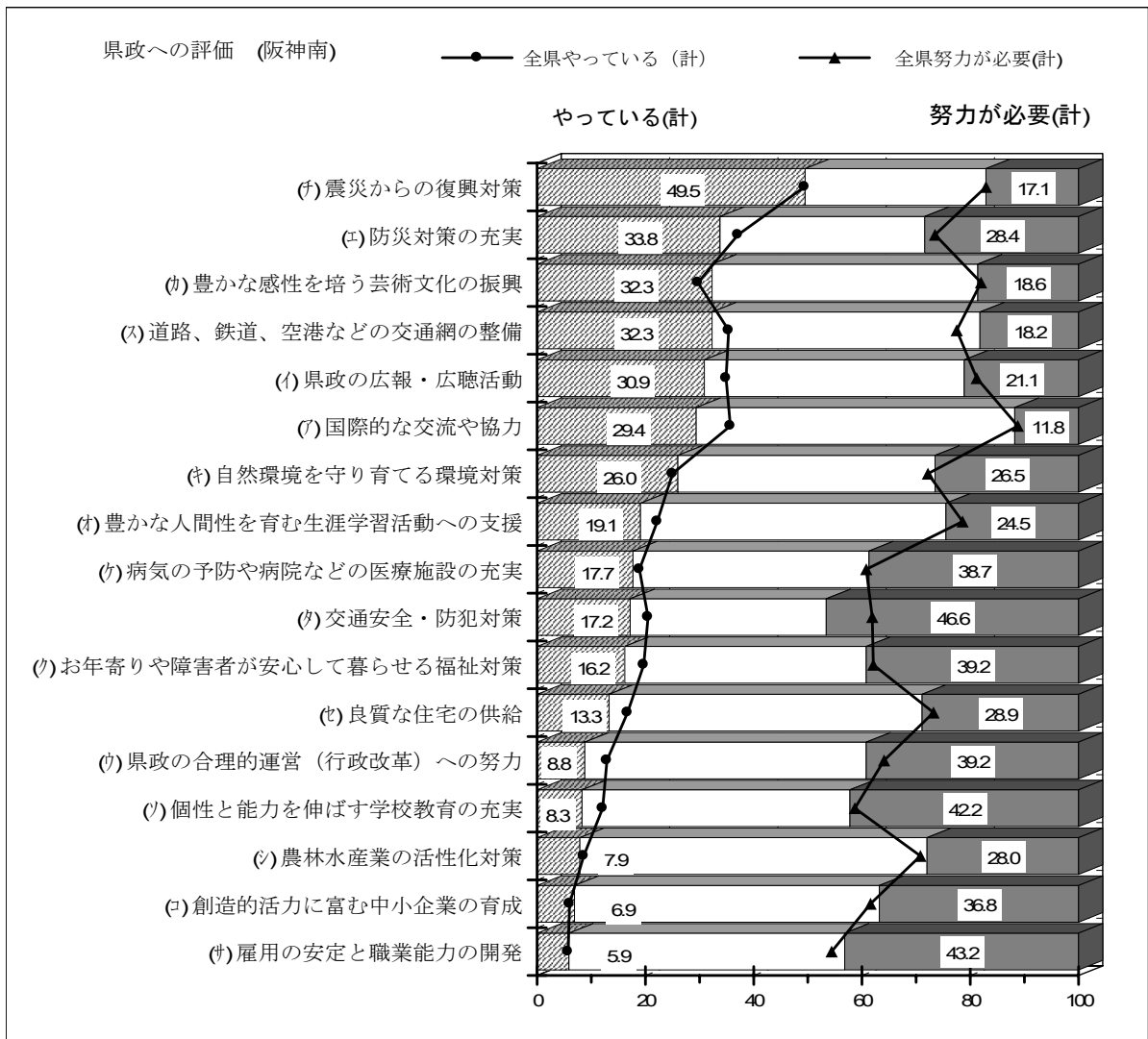
やっている（計）－前年度調査との比較	増減
(エ) 防災対策の充実	11.7
(x) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	9.3
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	5.6
(ス) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	3.4
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	3.4
(フ) 震災からの復興対策	3.3
(セ) 良質な住宅の供給	2.7
(シ) 農林水産業の活性化対策	2.2
(ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.1
(7) 国際的な交流や協力	1.7
(ウ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	1.7
(ク) 交通安全・防犯対策	1.4
(ニ) 創造的活力に富む中小企業の育成	0.1
(ノ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	-1.5
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	-2.2
(ケ) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-3.0
(4) 県政の広報・広聴活動	-5.4

努力必要（計）－前年度調査との比較	増減
(ウ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	8.7
(ノ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	8.1
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	4.0
(ケ) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	2.5
(シ) 農林水産業の活性化対策	2.3
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	1.6
(7) 国際的な交流や協力	1.4
(セ) 良質な住宅の供給	0.6
(x) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.4
(4) 県政の広報・広聴活動	-0.5
(ニ) 創造的活力に富む中小企業の育成	-0.7
(ク) 交通安全・防犯対策	-2.5
(フ) 震災からの復興対策	-2.5
(ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-4.5
(ス) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	-6.3
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	-6.8
(エ) 防災対策の充実	-7.1

阪神南

『やっている』で際立って多いのが「震災からの復興対策」(49.5%)で、約5割と他を15ポイント以上上回っている。その他、「防災対策の充実」(33.8%)、「芸術文化の振興」(32.3%)、「交通網の整備」(32.3%)、「県政の広報・広聴活動」(30.9%)が3割を超えている。

一方、『努力が必要』が最も多いのは「交通安全・防犯対策」(46.6%)で4割台半ばとなっており、以下「雇用の安定」(43.2%)、「学校教育の充実」(42.2%)、「福祉対策」(39.2%)、「県政の合理的運営への努力」(39.2%)、「病気の予防や医療施設の充実」(38.7%)、「中小企業の育成」(36.8%)が続いている。



『やっている』で阪神南が全県平均を上回っているのは、「芸術文化の振興」(2.6ポイント)、「環境対策」(1.0ポイント)、「中小企業の育成」(0.9ポイント)など、5項目となっている。

一方、『努力が必要』で全県平均を上回っているのは、「交通安全・防犯対策」(8.5ポイント)、「県政の合理的運営への努力」(3.3ポイント)、「生涯学習活動への支援」(3.1ポイント)、「県政の広報・広聴活動」(2.3ポイント)、「良質な住宅の供給」(2.1ポイント)など11項目となっている。

やっている（計）－全県結果との比較	比率の差
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	2.6
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	1.0
(ク) 創造的活力に富む中小企業の育成	0.9
(ケ) 雇用の安定と職業能力の開発	0.2
(コ) 震災からの復興対策	0.1
(サ) 農林水産業の活性化対策	-0.7
(シ) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.2
(ス) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	-3.1
(セ) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.1
(ソ) 防災対策の充実	-3.3
(タ) 交通安全・防犯対策	-3.3
(チ) 良質な住宅の供給	-3.4
(ツ) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.5
(テ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	-3.8
(ト) 県政の広報・広聴活動	-4.0
(ニ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-4.1
(ホ) 国際的な交流や協力	-6.3

努力必要（計）－全県結果との比較	比率の差
(カ) 交通安全・防犯対策	8.5
(キ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	3.3
(ク) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	3.1
(ケ) 県政の広報・広聴活動	2.3
(コ) 良質な住宅の供給	2.1
(サ) 防災対策の充実	1.9
(シ) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.3
(ス) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	0.9
(セ) 国際的な交流や協力	0.6
(ソ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	0.6
(タ) 震災からの復興対策	0.0
(チ) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-0.5
(ツ) 農林水産業の活性化対策	-1.2
(テ) 自然環境を守り育てる環境対策	-1.3
(ト) 創造的活力に富む中小企業の育成	-1.6
(ニ) 雇用の安定と職業能力の開発	-2.4
(ホ) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-4.3

『やっている』で前年度調査から増加したのは、「芸術文化の振興」（10.1ポイント）、「防災対策の充実」（9.7ポイント）、「環境対策」（8.7ポイント）、「震災からの復興対策」（7.4ポイント）など12項目となっている。

一方、『努力が必要』で前年度調査から増加したのは、「良質な住宅の供給」（1.8ポイント）、「県政の合理的運営への努力」（1.6ポイント）、「学校教育の充実」（0.9ポイント）の3項目となっている。

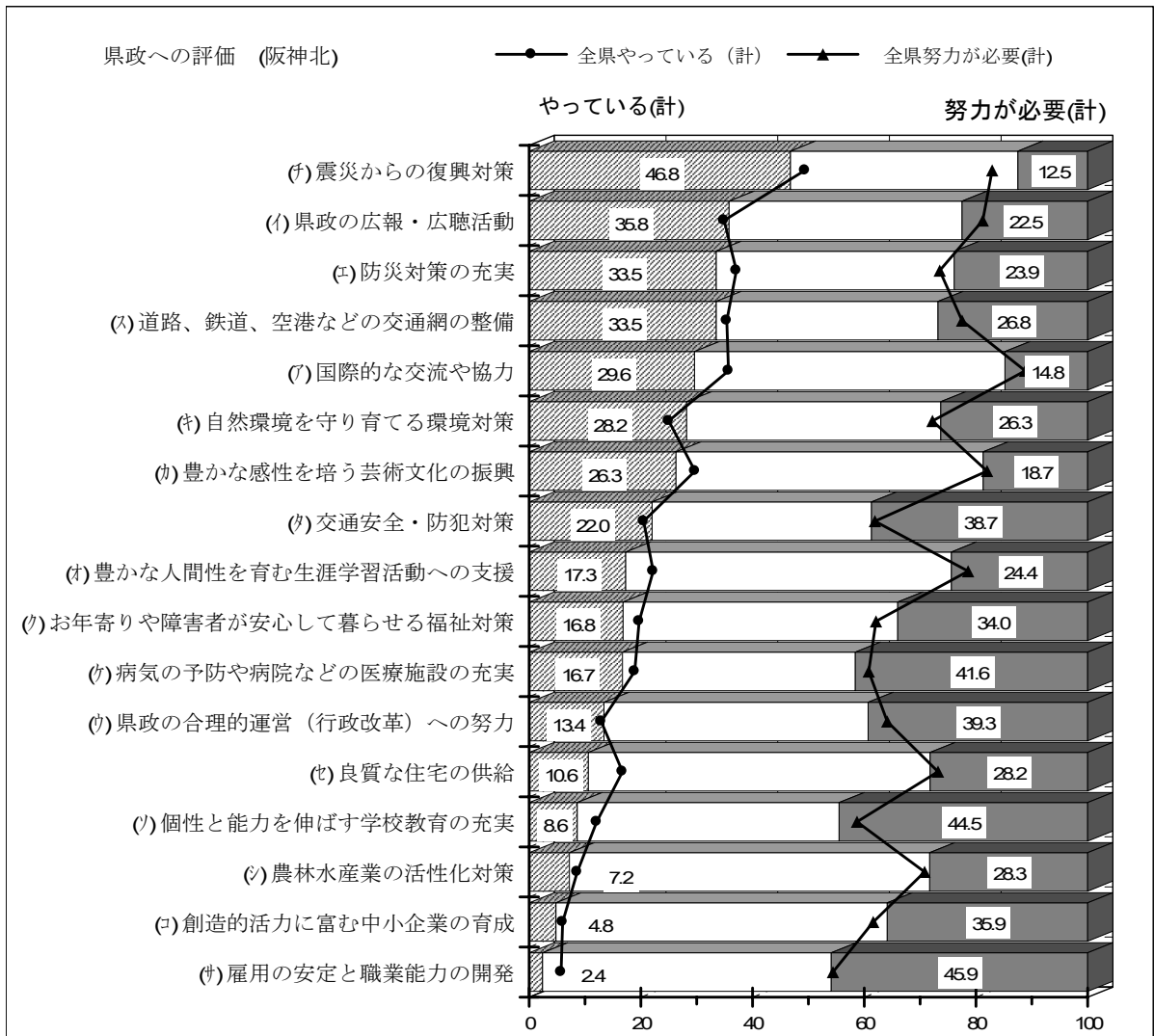
やっている（計）－前年度調査との比較	増減
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	10.1
(コ) 防災対策の充実	9.7
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	8.7
(フ) 震災からの復興対策	7.4
(ヘ) 国際的な交流や協力	5.7
(ク) 交通安全・防犯対策	5.2
(イ) 県政の広報・広聴活動	4.2
(オ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	4.1
(シ) 農林水産業の活性化対策	3.4
(ク) 創造的活力に富む中小企業の育成	2.3
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	1.4
(ツ) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.7
(ニ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-0.2
(ケ) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.5
(ソ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	-1.5
(チ) 良質な住宅の供給	-2.9
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-11.7

努力必要（計）－前年度調査との比較	増減
(チ) 良質な住宅の供給	1.8
(ニ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	1.6
(ソ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	0.9
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.4
(ケ) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.9
(ヘ) 国際的な交流や協力	-2.4
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-2.4
(オ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	-3.3
(ク) 交通安全・防犯対策	-3.4
(ク) 創造的活力に富む中小企業の育成	-3.4
(イ) 県政の広報・広聴活動	-3.7
(シ) 農林水産業の活性化対策	-4.3
(コ) 防災対策の充実	-4.7
(フ) 震災からの復興対策	-5.8
(ツ) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-8.6
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	-13.0
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	-13.2

阪神北

『やっている』が最も多いのは「震災からの復興対策」(46.8%)で4割台半ばを超えており、次いで「県政の広報・広聴活動」(35.8%)、「防災対策の充実」(33.5%)、「交通網の整備」(33.5%)が3割を超えている。

一方、『努力が必要』は、「雇用の安定」(45.9%)と「学校教育の充実」(44.5%)で4割台半ばと多い。次いで、「病気の予防や医療施設の充実」(41.6%)、「県政の合理的運営」(39.3%)、「交通安全・防犯対策」(38.7%)、「中小企業の育成」(35.9%)、「福祉対策」(34.0%)と続き、10項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



『やっている』で阪神北が全県平均を上回っているのは、「環境対策」(3.2ポイント)、「交通安全・防犯対策」(1.5ポイント)、「県政の広報・広聴活動」(0.9ポイント)、「県政の合理的運営への努力」(0.5ポイント)の4項目となっている。

一方、『努力が必要』で全県平均を上回っているのは、「交通網の整備」(4.3ポイント)、「県政の広報・広聴活動」(3.7ポイント)、「国際的な交流や協力」(3.6ポイント)、「県政の合理的運営への努力」(3.4ポイント)、「学校教育の充実」(3.2ポイント)、「生涯学習活動への支援」(3.0ポイント)など11項目となっている。

やっている（計）－全県結果との比較	比率の差
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	3.2
(ク) 交通安全・防犯対策	1.5
(カ) 県政の広報・広聴活動	0.9
(コ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	0.5
(ク) 創造的活力に富む中小企業の育成	-1.2
(シ) 農林水産業の活性化対策	-1.4
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.9
(セ) 病気予防や病院などの医療施設の充実	-2.2
(フ) 震災からの復興対策	-2.6
(ト) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.9
(チ) 雇用の安定と職業能力の開発	-3.3
(テ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-3.4
(ト) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	-3.5
(ニ) 防災対策の充実	-3.6
(ホ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	-4.9
(リ) 国際的な交流や協力	-6.1
(ヘ) 良質な住宅の供給	-6.1

努力必要（計）－全県結果との比較	比率の差
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	4.3
(イ) 県政の広報・広聴活動	3.7
(リ) 国際的な交流や協力	3.6
(ウ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	3.4
(ソ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	3.2
(ホ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	3.0
(ケ) 病気予防や病院などの医療施設の充実	2.4
(セ) 良質な住宅の供給	1.4
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	0.7
(ク) 交通安全・防犯対策	0.6
(チ) 雇用の安定と職業能力の開発	0.3
(シ) 農林水産業の活性化対策	-0.9
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	-1.5
(コ) 創造的活力に富む中小企業の育成	-2.5
(エ) 防災対策の充実	-2.6
(ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.9
(フ) 震災からの復興対策	-4.6

『やっている』で前年度調査から増加したのは、「交通安全・防犯対策」（8.5ポイント）、「防災対策の充実」（5.9ポイント）、「環境対策」（4.8ポイント）、「震災からの復興対策」（4.6ポイント）、「県政の合理的運営への努力」（3.1ポイント）など7項目となっている。

一方、『努力が必要』で前年度調査から増加したのは、「国際的な交流や協力」（2.4ポイント）、「農林水産業の活性化対策」（2.1ポイント）など6項目となっている。

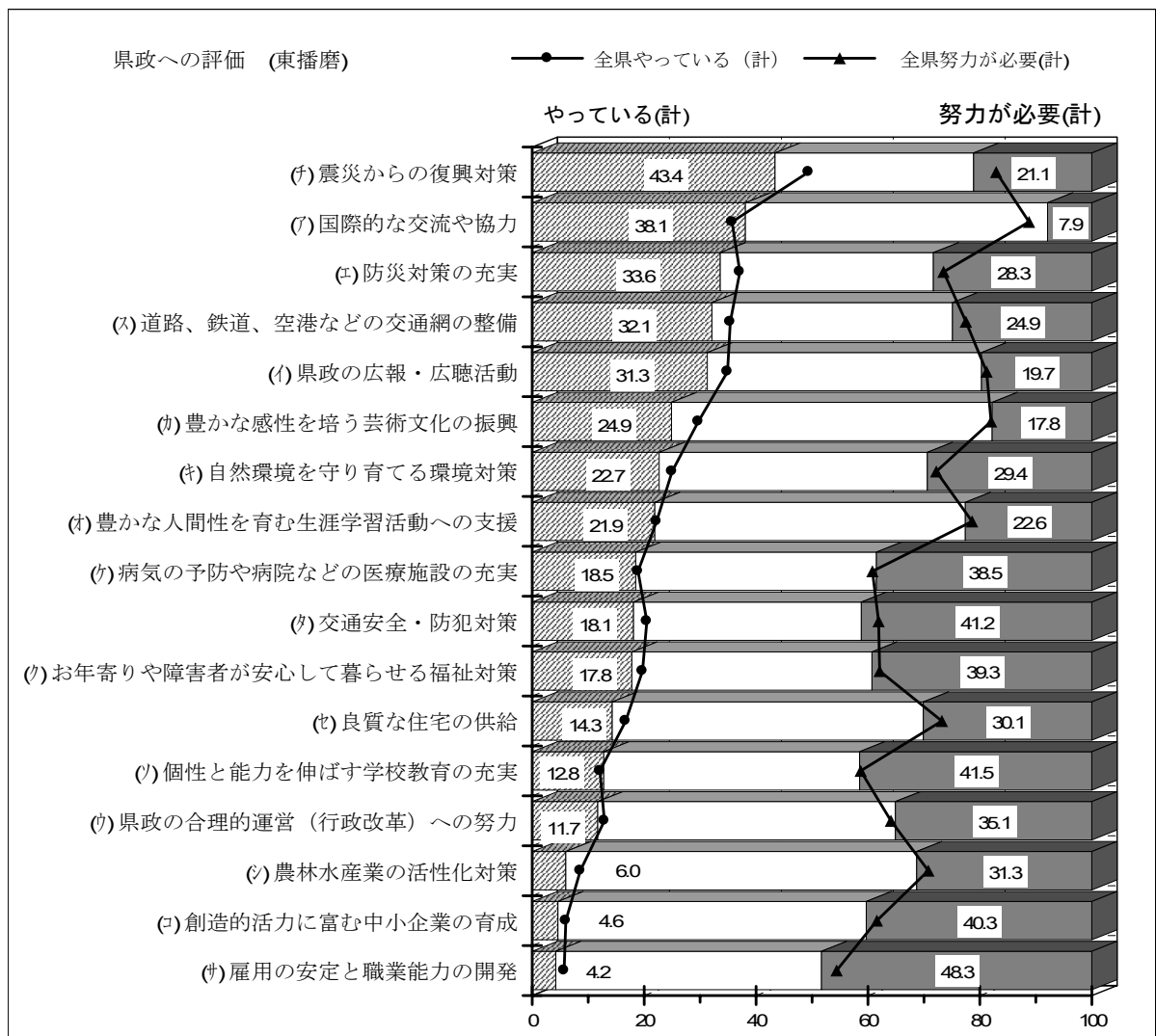
やっている（計）－前年度調査との比較	増減
(ク) 交通安全・防犯対策	8.5
(ニ) 防災対策の充実	5.9
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	4.8
(フ) 震災からの復興対策	4.6
(ウ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	3.1
(イ) 県政の広報・広聴活動	1.4
(コ) 創造的活力に富む中小企業の育成	0.1
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.2
(リ) 国際的な交流や協力	-0.5
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-1.7
(シ) 農林水産業の活性化対策	-1.7
(ホ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	-1.9
(ト) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	-3.8
(チ) 雇用の安定と職業能力の開発	-4.3
(ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-4.8
(ヘ) 良質な住宅の供給	-5.0
(ケ) 病気予防や病院などの医療施設の充実	-5.7

努力必要（計）－前年度調査との比較	増減
(リ) 国際的な交流や協力	2.4
(シ) 農林水産業の活性化対策	2.1
(ウ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	1.0
(セ) 良質な住宅の供給	0.9
(ソ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	0.5
(イ) 県政の広報・広聴活動	0.2
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.3
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-1.5
(ホ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	-2.5
(チ) 雇用の安定と職業能力の開発	-4.4
(ケ) 病気予防や病院などの医療施設の充実	-4.5
(コ) 創造的活力に富む中小企業の育成	-5.3
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	-8.4
(ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-9.2
(フ) 震災からの復興対策	-10.5
(ニ) 防災対策の充実	-10.9
(ク) 交通安全・防犯対策	-12.0

東播磨

『やっている』が最も多いのは、「震災からの復興対策」(43.4%)で4割を超えており、次いで「国際的な交流や協力」(38.1%)があげられ、以下「防災対策の充実」(33.6%)、「交通網の整備」(32.1%)、「県政の広報・広聴活動」(31.3%)が3割を超えている。

一方、『努力が必要』では、「雇用の安定」(48.3%)が約5割で、以下、「学校教育の充実」(41.5%)、「交通安全・防犯対策」(41.2%)、「中小企業の育成」(40.3%)、「福祉対策」(39.3%)、「病気の予防や医療施設の充実」(38.5%)が続き、11項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



『やっている』で東播磨が全県平均を上回っているのは、「国際的な交流や協力」(2.4ポイント)、「学校教育の充実」(0.7ポイント)の2項目のみとなっている。

一方、『努力が必要』で全県平均を上回っているのは、「震災からの復興対策」(4.0ポイント)、「良質な住宅の供給」(3.3ポイント)、「交通安全・防犯対策」(3.1ポイント)、「雇用の安定」(2.7ポイント)、「交通網の整備」(2.4ポイント)、「農林水産業の活性化対策」(2.1ポイント)など13項目となっている。

やっている（計）－全県結果との比較	比率の差
(7) 国際的な交流や協力	2.4
(7) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	0.7
(4) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	-0.3
(7) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-0.4
(6) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-1.2
(2) 創造的活力に富む中小企業の育成	-1.4
(4) 雇用の安定と職業能力の開発	-1.5
(7) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.9
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	-2.3
(セ) 良質な住宅の供給	-2.4
(7) 交通安全・防犯対策	-2.4
(シ) 農林水産業の活性化対策	-2.6
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.3
(エ) 防災対策の充実	-3.5
(イ) 県政の広報・広聴活動	-3.6
(ハ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-4.8
(フ) 震災からの復興対策	-6.0

努力必要（計）－全県結果との比較	比率の差
(フ) 震災からの復興対策	4.0
(セ) 良質な住宅の供給	3.3
(7) 交通安全・防犯対策	3.1
(4) 雇用の安定と職業能力の開発	2.7
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.4
(シ) 農林水産業の活性化対策	2.1
(2) 創造的活力に富む中小企業の育成	1.9
(エ) 防災対策の充実	1.8
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	1.6
(7) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.4
(4) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	1.2
(イ) 県政の広報・広聴活動	0.9
(7) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	0.2
(ハ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-0.2
(7) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-0.7
(7) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-0.8
(7) 国際的な交流や協力	-3.3

『やっている』で前年度調査から増加したのは、「国際的な交流や協力」（4.8ポイント）、「交通安全・防犯対策」（3.8ポイント）、「防災対策の充実」（1.2ポイント）、「良質な住宅の供給」（0.3ポイント）、「中小企業の育成」（0.1ポイント）の5項目となっている。

一方、『努力が必要』では、「学校教育の充実」（1.3ポイント）を除く16項目で前年度から減少している。

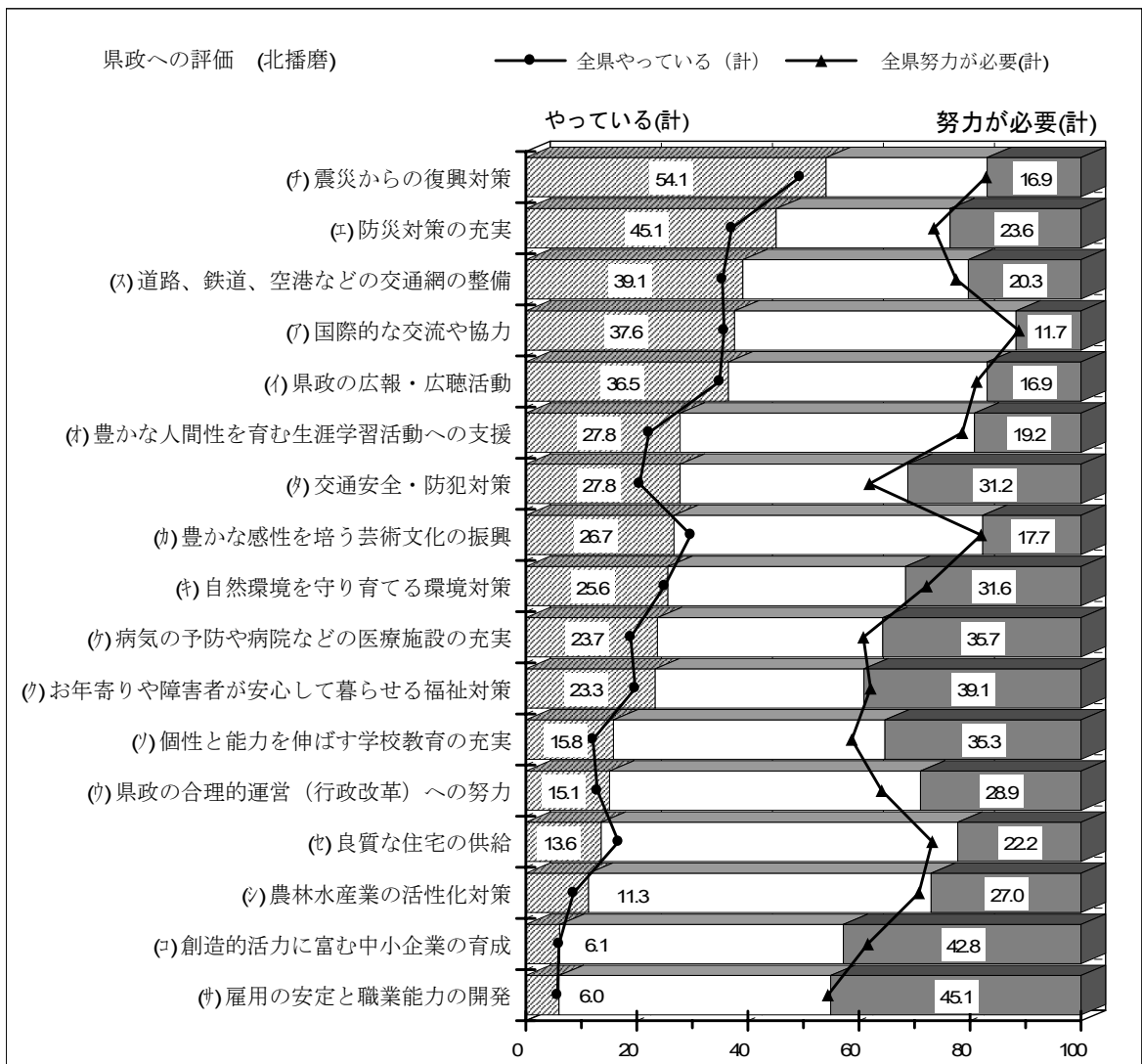
やっている（計）－前年度調査との比較	増減
(7) 国際的な交流や協力	4.8
(7) 交通安全・防犯対策	3.8
(エ) 防災対策の充実	1.2
(セ) 良質な住宅の供給	0.3
(2) 創造的活力に富む中小企業の育成	0.1
(7) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.1
(フ) 震災からの復興対策	-0.1
(7) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	-0.2
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	-0.5
(4) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	-1.0
(4) 雇用の安定と職業能力の開発	-1.0
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.3
(シ) 農林水産業の活性化対策	-1.9
(ハ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-2.5
(7) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-5.3
(イ) 県政の広報・広聴活動	-5.9
(7) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-6.6

努力必要（計）－前年度調査との比較	増減
(7) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	1.3
(2) 創造的活力に富む中小企業の育成	-0.6
(7) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-0.9
(シ) 農林水産業の活性化対策	-1.0
(セ) 良質な住宅の供給	-2.5
(4) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	-2.6
(フ) 震災からの復興対策	-2.8
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	-4.0
(イ) 県政の広報・広聴活動	-4.5
(ハ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-4.7
(7) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-4.7
(エ) 防災対策の充実	-5.3
(7) 国際的な交流や協力	-5.5
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-5.8
(7) 交通安全・防犯対策	-5.9
(7) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-7.7
(4) 雇用の安定と職業能力の開発	-7.9

北播磨

『やっている』で最も多いのは、「震災からの復興対策」(54.1%)で5割台半ばとなっており、次いで「防災対策の充実」(45.1%)が4割台半ば、以下「交通網の整備」(39.1%)、「国際的な交流や協力」(37.6%)、「県政の広報・広聴活動」(36.5%)が続いている。

一方、『努力が必要』は、「雇用の安定」(45.1%)と「中小企業の育成」(42.8%)で4割を超え、次いで「福祉対策」(39.1%)、「病気の予防や医療施設の充実」(35.7%)、「学校教育の充実」(35.3%)、「環境対策」(31.6%)、「交通安全・防犯対策」(31.2%)が続き、10項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



『やっている』で北播磨が全県平均を上回っているのは、「防災対策の充実」(8.0ポイント)、「交通安全・防犯対策」(7.3ポイント)、「生涯学習活動への支援」(5.6ポイント)、「病気の予防や医療施設の充実」(4.8ポイント)、「震災からの復興対策」(4.7ポイント)など、15項目となっている。

一方、『努力が必要』で全県平均を上回っているのは、「中小企業の育成」(4.4ポイント)、「環境対策」(3.8ポイント)、「福祉対策」(1.2ポイント)、「国際的な交流や協力」(0.5ポイント)の4項目となっている。

やっている（計）－全県結果との比較	比率の差
(エ) 防災対策の充実	8.0
(ク) 交通安全・防犯対策	7.3
(カ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	5.6
(ケ) 病気予防や病院などの医療施設の充実	4.8
(コ) 震災からの復興対策	4.7
(ク) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	3.7
(ケ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	3.7
(ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.6
(シ) 農林水産業の活性化対策	2.7
(ク) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	2.2
(ク) 国際的な交流や協力	1.9
(イ) 県政の広報・広聴活動	1.6
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	0.6
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	0.3
(コ) 創造的活力に富む中小企業の育成	0.1
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-3.0
(セ) 良質な住宅の供給	-3.1

努力必要（計）－全県結果との比較	比率の差
(コ) 創造的活力に富む中小企業の育成	4.4
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	3.8
(ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.2
(ア) 国際的な交流や協力	0.5
(フ) 震災からの復興対策	-0.2
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-0.3
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	-0.5
(イ) 県政の広報・広聴活動	-1.9
(オ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	-2.2
(シ) 農林水産業の活性化対策	-2.2
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-2.2
(エ) 防災対策の充実	-2.9
(ケ) 病気予防や病院などの医療施設の充実	-3.5
(セ) 良質な住宅の供給	-4.6
(ロ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	-6.0
(ク) 交通安全・防犯対策	-6.9
(ク) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-7.0

『やっている』で前年度調査から増加したのは、「交通網の整備」(11.6ポイント)、「震災からの復興対策」(7.6ポイント)、「防災対策の充実」(7.2ポイント)、「交通安全・防犯対策」(6.6ポイント)など7項目となっている。

一方、『努力が必要』で前年度調査から増加したのは、「環境対策」(3.5ポイント)、「福祉対策」(2.6ポイント)、「芸術文化の振興」(1.7ポイント)、「中小企業の育成」(0.4ポイント)の4項目となっている。

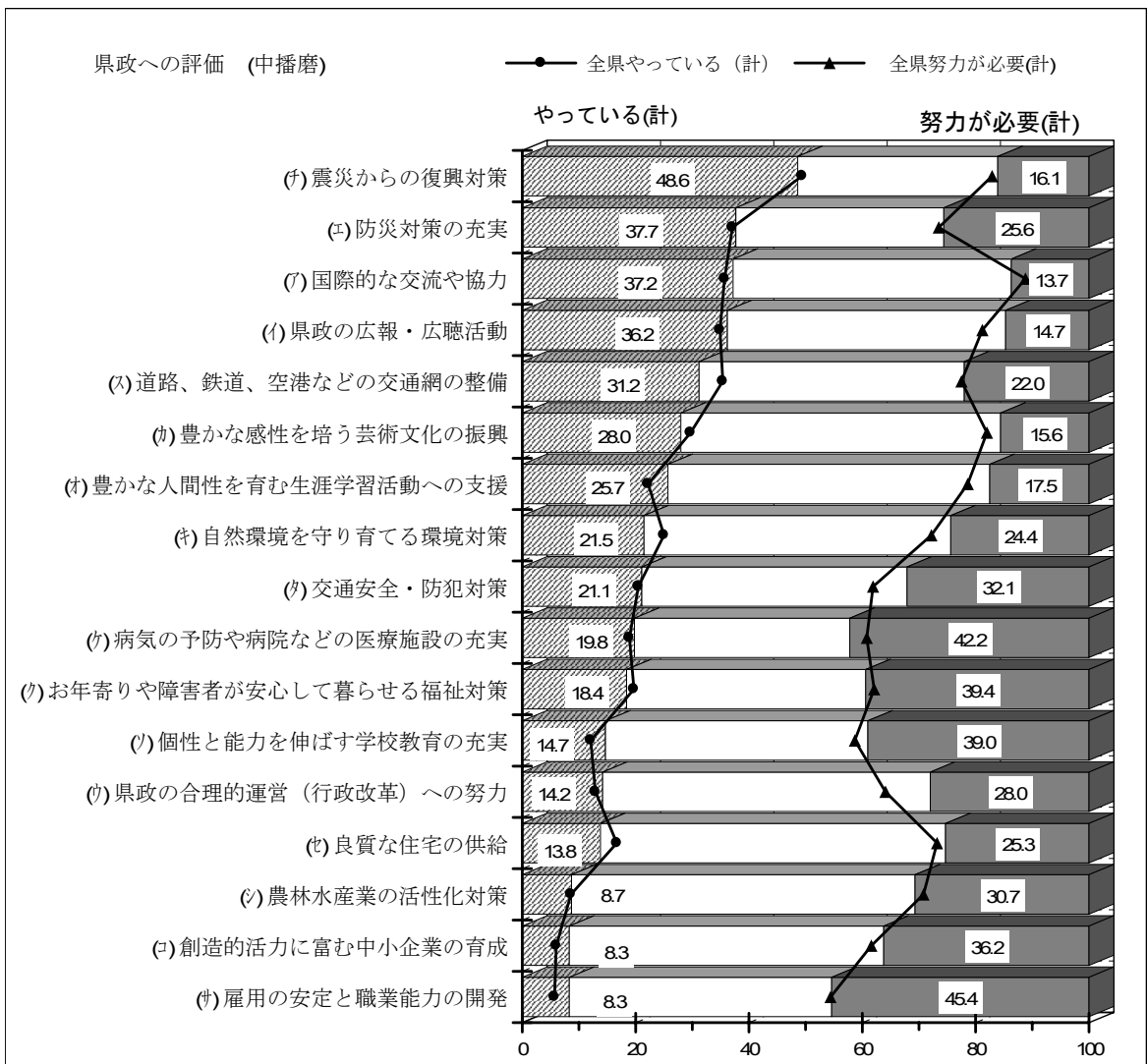
やっている（計）－前年度調査との比較	増減
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	11.6
(フ) 震災からの復興対策	7.6
(エ) 防災対策の充実	7.2
(ク) 交通安全・防犯対策	6.6
(ア) 国際的な交流や協力	3.6
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	1.7
(シ) 農林水産業の活性化対策	0.9
(ク) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-0.5
(オ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	-1.1
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	-1.6
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-1.7
(ロ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	-2.3
(コ) 創造的活力に富む中小企業の育成	-2.9
(ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-4.2
(ケ) 病気予防や病院などの医療施設の充実	-4.4
(セ) 良質な住宅の供給	-4.8
(イ) 県政の広報・広聴活動	-6.5

努力必要（計）－前年度調査との比較	増減
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	3.5
(ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.6
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	1.7
(コ) 創造的活力に富む中小企業の育成	0.4
(ア) 国際的な交流や協力	-0.1
(イ) 県政の広報・広聴活動	-0.1
(オ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	-2.3
(ロ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	-2.5
(ケ) 病気予防や病院などの医療施設の充実	-3.9
(エ) 防災対策の充実	-5.5
(セ) 良質な住宅の供給	-5.9
(ク) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-6.2
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	-7.3
(ク) 交通安全・防犯対策	-7.3
(フ) 震災からの復興対策	-7.4
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-8.8
(シ) 農林水産業の活性化対策	-9.5

中播磨

『やっている』で最も多いのは「震災からの復興対策」(48.6%)で約5割となっており、以下「防災対策の充実」(37.7%)、「国際的な交流や協力」(37.2%)、「県政の広報・広聴活動」(36.2%)、「交通網の整備」(31.2%)が続いている。

一方、『努力が必要』は、「雇用の安定」(45.4%)と「病気の予防や医療施設の充実」(42.2%)で4割を超え、「福祉対策」(39.4%)、「学校教育の充実」(39.0%)、「中小企業の育成」(36.2%)、「交通安全・防犯対策」(32.1%)、「農林水産業の活性化対策」(30.7%)と続き、10項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



『やっている』で中播磨が全県平均を上回っているのは、「生涯学習活動への支援」(3.5ポイント)、「雇用の安定」(2.6ポイント)、「学校教育の充実」(2.6ポイント)、「中小企業の育成」(2.3ポイント)など、11項目となっている。

一方、『努力が必要』で全県平均を上回っているのは、「病気の予防や医療施設の充実」(3.0ポイント)、「国際的な交流や協力」(2.5ポイント)、「福祉対策」(1.5ポイント)、「農林水産業の活性化対策」(1.5ポイント)の4項目となっている。

やっている（計）－全県結果との比較	比率の差
(イ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	3.5
(ロ) 雇用の安定と職業能力の開発	2.6
(ハ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	2.6
(ニ) 創造的活力に富む中小企業の育成	2.3
(ホ) 国際的な交流や協力	1.5
(ヘ) 県政の広報・広聴活動	1.3
(ヘ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	1.3
(ケ) 病気予防や病院などの医療施設の充実	0.9
(コ) 防災対策の充実	0.6
(ク) 交通安全・防犯対策	0.6
(シ) 農林水産業の活性化対策	0.1
(フ) 震災からの復興対策	-0.8
(ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.3
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-1.7
(セ) 良質な住宅の供給	-2.9
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	-3.5
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-4.2

努力必要（計）－全県結果との比較	比率の差
(ケ) 病気予防や病院などの医療施設の充実	3.0
(ア) 国際的な交流や協力	2.5
(ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.5
(シ) 農林水産業の活性化対策	1.5
(ロ) 雇用の安定と職業能力の開発	-0.2
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.5
(コ) 防災対策の充実	-0.9
(フ) 震災からの復興対策	-1.0
(セ) 良質な住宅の供給	-1.5
(ニ) 創造的活力に富む中小企業の育成	-2.2
(ハ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	-2.3
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-2.4
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	-3.4
(イ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	-3.9
(ヘ) 県政の広報・広聴活動	-4.1
(ク) 交通安全・防犯対策	-6.0
(ヘ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-7.9

『やっている』で前年度調査から増加したのは「防災対策の充実」(8.0ポイント)、「震災からの復興対策」(6.5ポイント)、「交通安全・防犯対策」(5.9ポイント)、「国際的な交流や協力」(4.3ポイント)、「雇用の安定」(3.2ポイント)など10項目となっている。

一方、『努力が必要』で前年度調査から増加したのは、「病気予防や医療施設の充実」(6.0ポイント)、「国際的な交流や協力」(2.4ポイント)、「良質な住宅の供給」(2.1ポイント)、「県政の広報・広聴活動」(0.5ポイント)の4項目となっている。

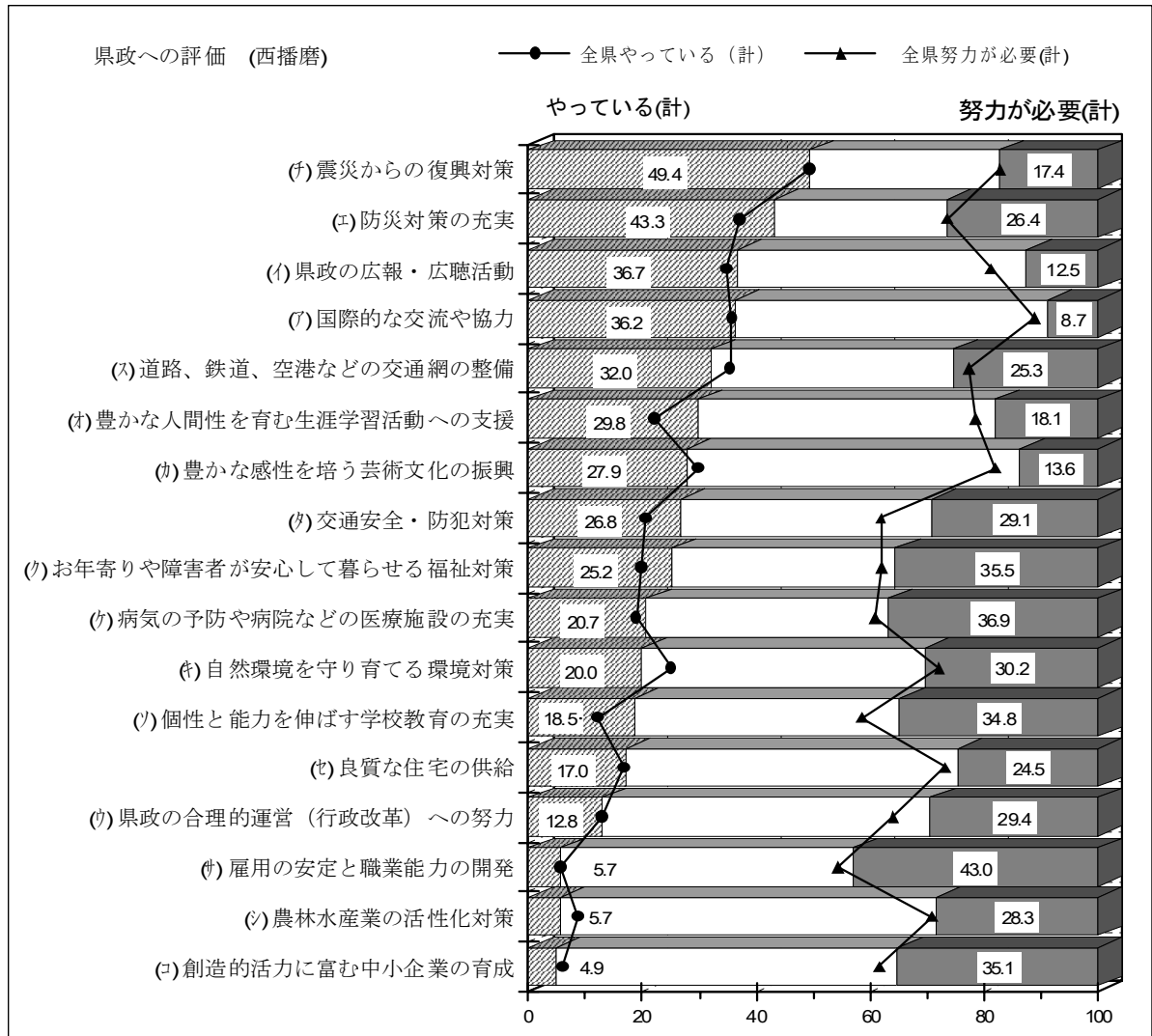
やっている（計）－前年度調査との比較	増減
(コ) 防災対策の充実	8.0
(フ) 震災からの復興対策	6.5
(ク) 交通安全・防犯対策	5.9
(ア) 国際的な交流や協力	4.3
(ロ) 雇用の安定と職業能力の開発	3.2
(ハ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	2.0
(シ) 農林水産業の活性化対策	1.8
(ニ) 創造的活力に富む中小企業の育成	1.1
(イ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	0.3
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	0.1
(セ) 良質な住宅の供給	-0.7
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.0
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	-1.7
(ヘ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-1.7
(ヘ) 県政の広報・広聴活動	-2.9
(ケ) 病気予防や病院などの医療施設の充実	-5.5
(ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-6.6

努力必要（計）－前年度調査との比較	増減
(ケ) 病気予防や病院などの医療施設の充実	6.0
(ア) 国際的な交流や協力	2.4
(セ) 良質な住宅の供給	2.1
(ヘ) 県政の広報・広聴活動	0.5
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-0.3
(ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.5
(シ) 農林水産業の活性化対策	-0.5
(ヘ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-1.0
(イ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	-1.7
(ハ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	-4.5
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	-4.6
(ニ) 創造的活力に富む中小企業の育成	-4.7
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-4.8
(コ) 防災対策の充実	-6.3
(ロ) 雇用の安定と職業能力の開発	-6.4
(フ) 震災からの復興対策	-7.8
(ク) 交通安全・防犯対策	-13.5

西播磨

『やっている』で最も多いのは「震災からの復興対策」(49.4%)で約5割、次いで「防災対策の充実」(43.3%)が4割を超えており、以下「県政の広報・広聴活動」(36.7%)、「国際的な交流や協力」(36.2%)、「交通網の整備」(32.0%)が続いている。

一方、『努力が必要』は、「雇用の安定」(43.0%)で4割を超えており、「病気の予防や医療施設の充実」(36.9%)、「福祉対策」(35.5%)、「中小企業の育成」(35.1%)、「学校教育の充実」(34.8%)が続き、10項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



『やっている』で西播磨が全県平均を上回っているのは、「生涯学習活動への支援」(7.6ポイント)、「学校教育の充実」(6.4ポイント)、「交通安全・防犯対策」(6.3ポイント)、「防災対策の充実」(6.2ポイント)、「福祉対策」(5.5ポイント)など11項目となっている。

一方、『努力が必要』で全県平均を上回っているのは、「交通網の整備」(2.8ポイント)、「環境対策」(2.4ポイント)、「震災からの復興対策」(0.3ポイント)の3項目となっている。

やっている（計）－全県結果との比較	比率の差
(イ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	7.6
(ロ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	6.4
(ハ) 交通安全・防犯対策	6.3
(ニ) 防災対策の充実	6.2
(ホ) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	5.5
(ヘ) 県政の広報・広聴活動	1.8
(ヘ) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.8
(ロ) 国際的な交流や協力	0.5
(セ) 良質な住宅の供給	0.3
(コ) 雇用の安定と職業能力の開発	0.0
(カ) 震災からの復興対策	0.0
(ニ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-0.1
(コ) 創造的活力に富む中小企業の育成	-1.1
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-1.8
(シ) 農林水産業の活性化対策	-2.9
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.4
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	-5.0

努力必要（計）－全県結果との比較	比率の差
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.8
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	2.4
(フ) 震災からの復興対策	0.3
(エ) 防災対策の充実	-0.1
(シ) 農林水産業の活性化対策	-0.9
(ケ) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-2.3
(セ) 良質な住宅の供給	-2.3
(ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.4
(リ) 国際的な交流や協力	-2.5
(コ) 雇用の安定と職業能力の開発	-2.6
(イ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	-3.3
(コ) 創造的活力に富む中小企業の育成	-3.3
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-4.4
(イ) 県政の広報・広聴活動	-6.3
(ウ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-6.5
(ロ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	-6.5
(ハ) 交通安全・防犯対策	-9.0

『やっている』で前年度調査から増加したのは、「防災対策の充実」(9.3ポイント)、「震災からの復興対策」(7.4ポイント)、「交通網の整備」(6.4ポイント)、「国際的な交流や協力」(4.9ポイント)、「生涯学習活動への支援」(4.5ポイント)など8項目となっている。

一方、『努力が必要』で前年度調査から増加したのは、「県政の合理的運営への努力」(2.6ポイント)、「環境対策」(2.2ポイント)、「学校教育の充実」(1.2ポイント)、「福祉対策」(0.1ポイント)の4項目となっている。

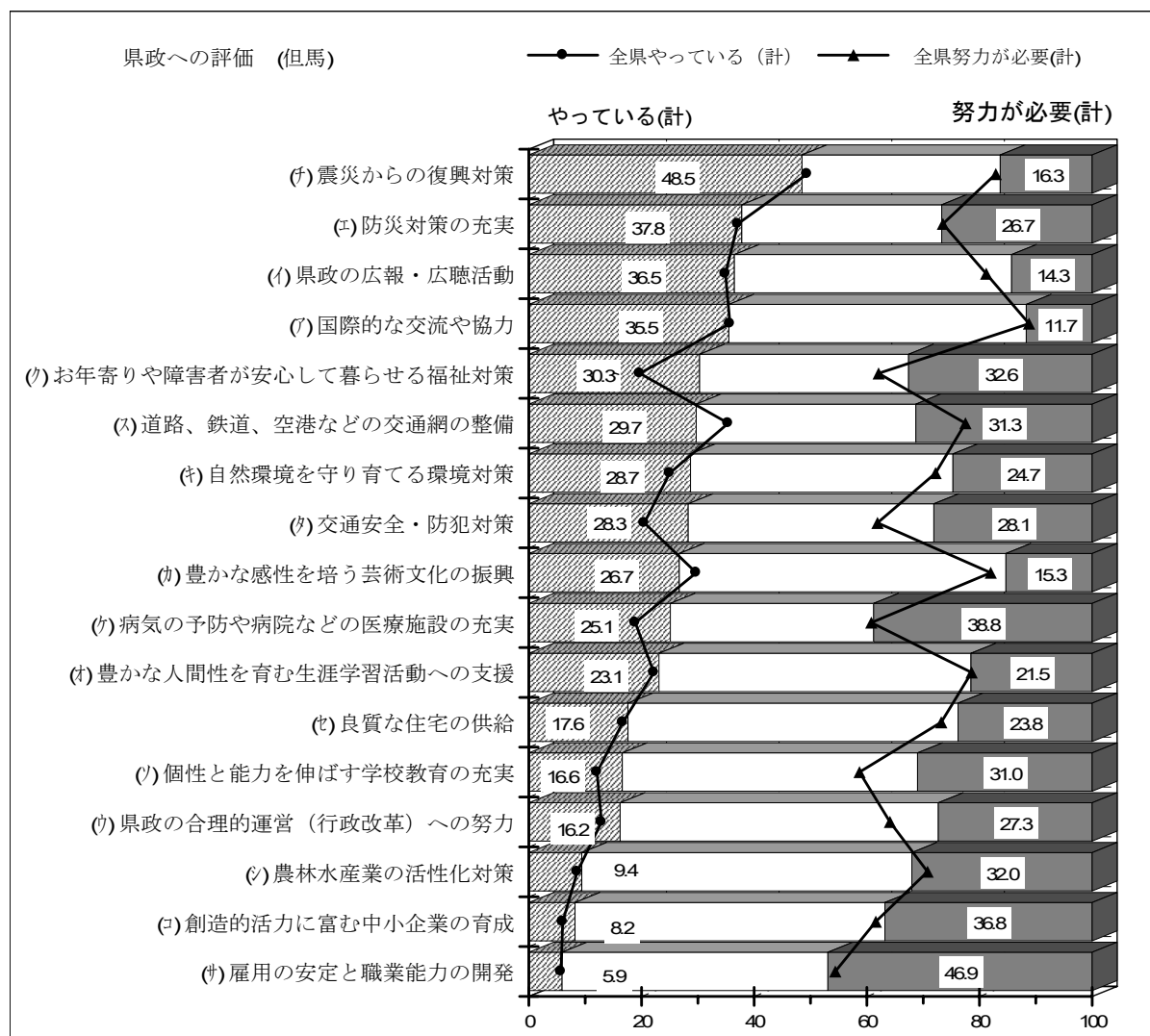
やっている（計）－前年度調査との比較	増減
(エ) 防災対策の充実	9.3
(フ) 震災からの復興対策	7.4
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	6.4
(ロ) 国際的な交流や協力	4.9
(イ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	4.5
(セ) 良質な住宅の供給	2.7
(ハ) 交通安全・防犯対策	2.4
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	1.4
(ケ) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.0
(コ) 雇用の安定と職業能力の開発	-1.2
(ロ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	-1.8
(イ) 県政の広報・広聴活動	-2.3
(コ) 創造的活力に富む中小企業の育成	-2.5
(シ) 農林水産業の活性化対策	-2.6
(ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.1
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	-4.4
(ウ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-5.7

努力必要（計）－前年度調査との比較	増減
(ウ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	2.6
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	2.2
(ロ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	1.2
(ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.1
(セ) 良質な住宅の供給	-0.5
(リ) 国際的な交流や協力	-2.3
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-2.5
(イ) 県政の広報・広聴活動	-3.0
(ケ) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-4.5
(フ) 震災からの復興対策	-4.6
(エ) 防災対策の充実	-5.4
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-5.4
(イ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	-5.8
(コ) 創造的活力に富む中小企業の育成	-6.9
(ハ) 交通安全・防犯対策	-6.9
(コ) 雇用の安定と職業能力の開発	-8.5
(シ) 農林水産業の活性化対策	-8.9

但馬

『やっている』で際立って多いのは「震災からの復興対策」(48.5%)で約5割、以下「防災対策の充実」(37.8%)、「県政の広報・広聴活動」(36.5%)、「国際的な交流や協力」(35.5%)が続いている。

一方、『努力が必要』は、「雇用の安定」(46.9%)で4割台半ばを超え、次いで「病気の予防や医療施設の充実」(38.8%)、「中小企業の育成」(36.8%)、「福祉対策」(32.6%)、「農林水産業の活性化対策」(32.0%)、「交通網の整備」(31.3%)、「学校教育の充実」(31.0%)が続き、9項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



『やっている』で但馬が全県平均を上回っているのは、「福祉対策」(10.6ポイント)、「交通安全・防犯対策」(7.8ポイント)、「病気の予防や医療施設の充実」(6.2ポイント)、「学校教育の充実」(4.5ポイント)、「環境対策」(3.7ポイント)、「県政の合理的運営への努力」(3.3ポイント)など13項目となっている。

一方、『努力が必要』で全県平均を上回っているのは、「交通網の整備」(8.8ポイント)、「農林水産業の活性化対策」(2.8ポイント)、「雇用の安定」(1.3ポイント)など6項目となっている。

やっている（計）－全県結果との比較	比率の差
(ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	10.6
(カ) 交通安全・防犯対策	7.8
(キ) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	6.2
(ク) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	4.5
(ケ) 自然環境を守り育てる環境対策	3.7
(コ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	3.3
(コ) 創造的活力に富む中小企業の育成	2.2
(カ) 県政の広報・広聴活動	1.6
(カ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	0.9
(セ) 良質な住宅の供給	0.9
(シ) 農林水産業の活性化対策	0.8
(エ) 防災対策の充実	0.7
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	0.2
(イ) 国際的な交流や協力	-0.2
(フ) 震災からの復興対策	-0.9
(ハ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-3.0
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-5.7

努力必要（計）－全県結果との比較	比率の差
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	8.8
(シ) 農林水産業の活性化対策	2.8
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	1.3
(イ) 国際的な交流や協力	0.5
(エ) 防災対策の充実	0.2
(カ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	0.1
(キ) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-0.4
(フ) 震災からの復興対策	-0.8
(コ) 創造的活力に富む中小企業の育成	-1.6
(ハ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-2.7
(セ) 良質な住宅の供給	-3.0
(ケ) 自然環境を守り育てる環境対策	-3.1
(イ) 県政の広報・広聴活動	-4.5
(ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-5.3
(コ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-8.6
(カ) 交通安全・防犯対策	-10.0
(ク) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	-10.3

『やっている』で前年度調査から増加したのは、「良質な住宅の供給」（4.3ポイント）、「福祉対策」（3.6ポイント）、「防災対策の充実」（3.6ポイント）、「震災からの復興対策」（3.4ポイント）、「交通安全・防犯対策」（2.6ポイント）など8項目となっている。

一方、『努力が必要』で前年度調査から増加したのは、「生涯学習活動への支援」（4.0ポイント）、「国際的な交流や協力」（3.4ポイント）、「県政の合理的運営への努力」（3.1ポイント）などの6項目となっている。

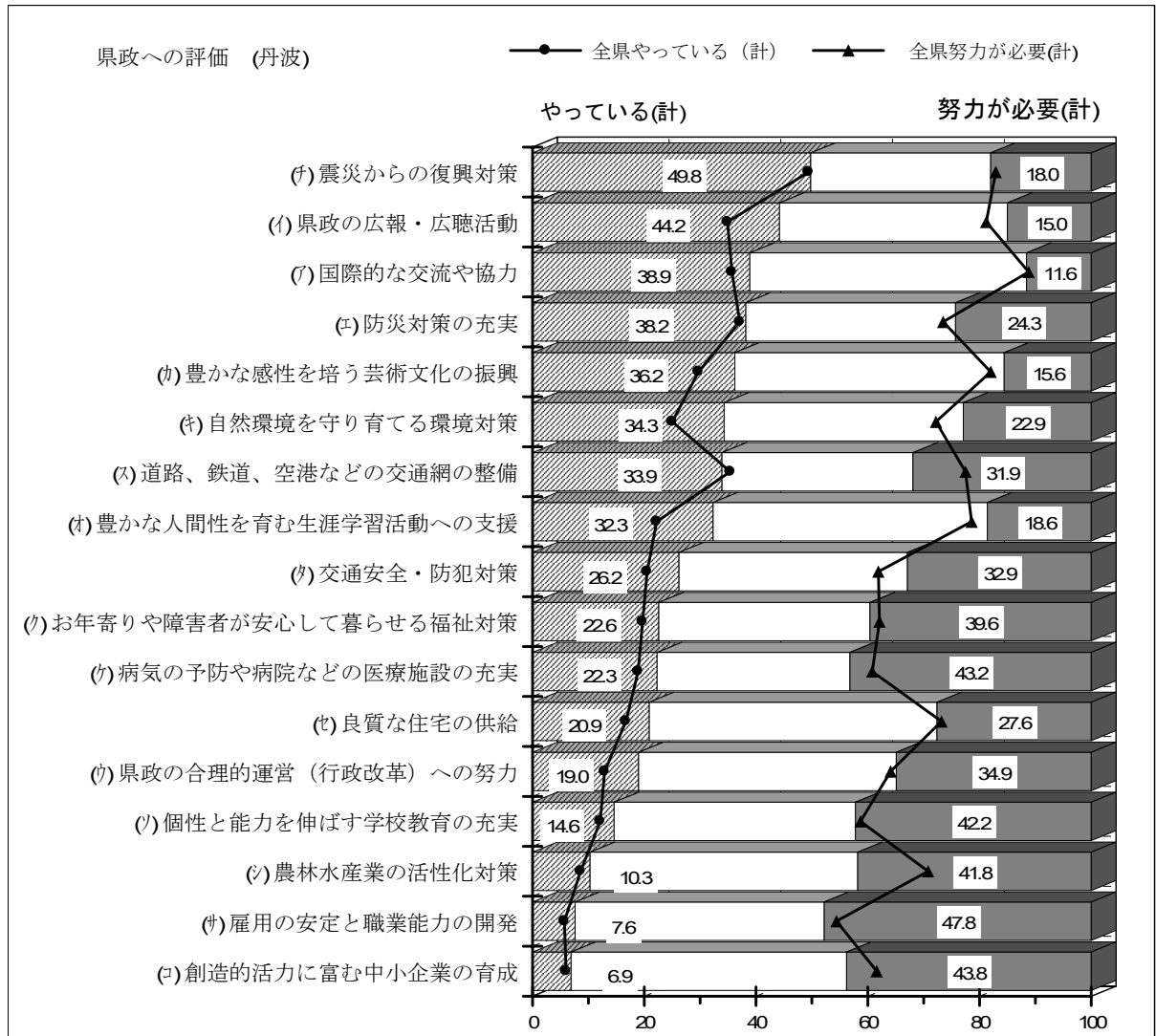
やっている（計）－前年度調査との比較	増減
(セ) 良質な住宅の供給	4.3
(ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.6
(エ) 防災対策の充実	3.6
(フ) 震災からの復興対策	3.4
(カ) 交通安全・防犯対策	2.6
(キ) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.6
(ケ) 自然環境を守り育てる環境対策	1.4
(コ) 創造的活力に富む中小企業の育成	1.2
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.1
(シ) 農林水産業の活性化対策	-0.5
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	-0.5
(ク) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	-1.2
(イ) 国際的な交流や協力	-2.6
(ハ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-4.1
(カ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	-4.8
(コ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-6.0
(イ) 県政の広報・広聴活動	-7.6

努力必要（計）－前年度調査との比較	増減
(カ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	4.0
(イ) 国際的な交流や協力	3.4
(コ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	3.1
(キ) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.0
(ケ) 自然環境を守り育てる環境対策	0.9
(ク) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	0.5
(カ) 交通安全・防犯対策	-0.8
(イ) 県政の広報・広聴活動	-0.9
(ハ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-1.2
(ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.4
(エ) 防災対策の充実	-2.2
(フ) 震災からの復興対策	-4.1
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-4.2
(シ) 農林水産業の活性化対策	-4.8
(コ) 創造的活力に富む中小企業の育成	-5.4
(サ) 雇用の安定と職業能力の開発	-6.7
(セ) 良質な住宅の供給	-8.9

丹波

『やっている』で最も多いのは「震災からの復興対策」(49.8%)で約5割となっており、「県政の広報・広聴活動」(44.2%)が4割台半ばで、以下、「国際的な交流や協力」(38.9%)、「防災対策の充実」(38.2%)、「芸術文化の振興」(36.2%)が続いている。

一方、『努力が必要』は、「雇用の安定」(47.8%)で約5割となっており、「中小企業の育成」(43.8%)、「病気の予防や医療施設の充実」(43.2%)、「学校教育の充実」(42.2%)、「農林水産業の活性化対策」(41.8%)、「福祉対策」(39.6%)と続き、9項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



『やっている』で全県平均を上回っているのは、「生涯学習活動への支援」(10.1ポイント)、「県政の広報・広聴活動」(9.3ポイント)、「環境対策」(9.3ポイント)、「芸術文化の振興」(6.5ポイント)、「県政の合理的運営への努力」(6.1ポイント)、「交通安全・防犯対策」(5.7ポイント)など「交通網の整備」(-1.5ポイント)を除く16項目となっている。

一方、『努力が必要』で全県平均を上回っているのは、「農林水産業の活性化対策」(12.6ポイント)、「交通網の整備」(9.4ポイント)、「中小企業の育成」(5.4ポイント)、「病気の予防や医療施設の充実」(4.0ポイント)など10項目となっている。

やっている（計）－全県結果との比較	比率の差
(イ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	10.1
(イ) 県政の広報・広聴活動	9.3
(イ) 自然環境を守り育てる環境対策	9.3
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	6.5
(ロ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	6.1
(ハ) 交通安全・防犯対策	5.7
(ニ) 良質な住宅の供給	4.2
(ケ) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.4
(ヘ) 国際的な交流や協力	3.2
(コ) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.9
(セ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	2.5
(ク) 雇用の安定と職業能力の開発	1.9
(シ) 農林水産業の活性化対策	1.7
(ス) 防災対策の充実	1.1
(ソ) 創造的活力に富む中小企業の育成	0.9
(ジ) 震災からの復興対策	0.4
(ダ) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.5

努力必要（計）－全県結果との比較	比率の差
(シ) 農林水産業の活性化対策	12.6
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	9.4
(ソ) 創造的活力に富む中小企業の育成	5.4
(ケ) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	4.0
(ク) 雇用の安定と職業能力の開発	2.2
(コ) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.7
(セ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	0.9
(フ) 震災からの復興対策	0.9
(ニ) 良質な住宅の供給	0.8
(ヘ) 国際的な交流や協力	0.4
(ロ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-1.0
(エ) 防災対策の充実	-2.2
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-2.4
(イ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	-2.8
(イ) 県政の広報・広聴活動	-3.8
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	-4.9
(ハ) 交通安全・防犯対策	-5.2

『やっている』で前年度調査から増加したのは、「環境対策」(5.8ポイント)、 「防災対策の充実」(5.3ポイント)、 「芸術文化の振興」(2.0ポイント)、 「震災からの復興対策」(1.9ポイント)、 「県政の広報・広聴活動」(1.5ポイント)、 「生涯学習活動への支援」(1.4ポイント)など8項目となっている。

一方、『努力が必要』で前年度調査から増加したのは、「学校教育の充実」(10.3ポイント)、 「良質な住宅の供給」(6.1ポイント)、 「県政の合理的運営への努力」(5.1ポイント)、 「病気の予防や医療施設の充実」(3.6ポイント)など11項目となっている。

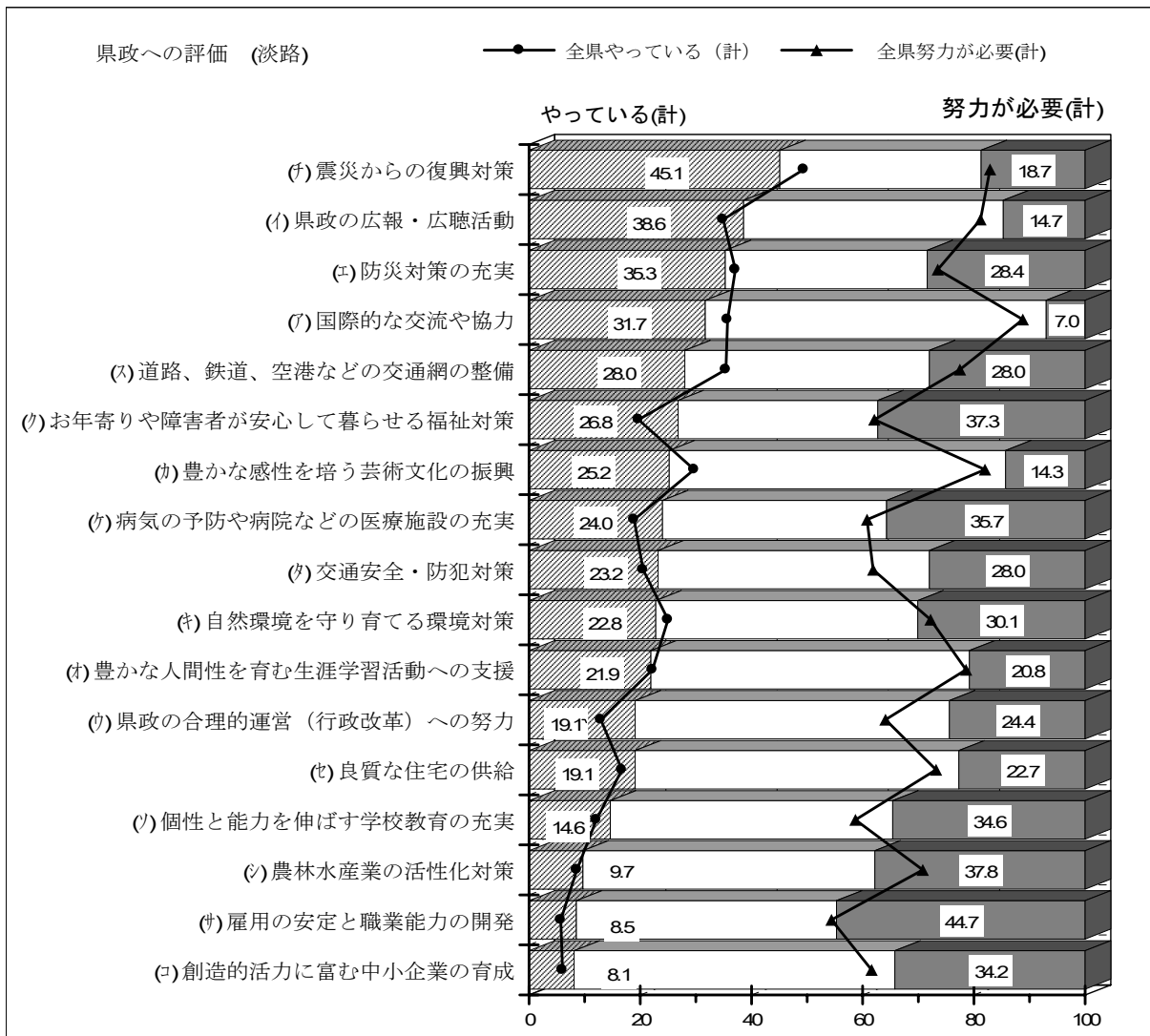
やっている（計）－前年度調査との比較	増減
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	5.8
(エ) 防災対策の充実	5.3
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	2.0
(フ) 震災からの復興対策	1.9
(イ) 県政の広報・広聴活動	1.5
(イ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	1.4
(ハ) 交通安全・防犯対策	0.4
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.3
(シ) 農林水産業の活性化対策	-0.8
(ロ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-1.1
(ソ) 創造的活力に富む中小企業の育成	-1.1
(ク) 雇用の安定と職業能力の開発	-1.5
(ケ) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.6
(ニ) 良質な住宅の供給	-1.6
(コ) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.9
(ヘ) 国際的な交流や協力	-3.7
(セ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	-5.5

努力必要（計）－前年度調査との比較	増減
(セ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	10.3
(ニ) 良質な住宅の供給	6.1
(ロ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	5.1
(ケ) 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.6
(ヘ) 国際的な交流や協力	3.2
(ソ) 創造的活力に富む中小企業の育成	2.6
(シ) 農林水産業の活性化対策	2.2
(イ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	2.1
(カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	1.8
(コ) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.7
(ク) 雇用の安定と職業能力の開発	0.9
(ハ) 交通安全・防犯対策	0.0
(イ) 県政の広報・広聴活動	-0.1
(フ) 震災からの復興対策	-0.5
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.7
(エ) 防災対策の充実	-4.6
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	-5.3

淡路

『やっている』で最も多いのは「震災からの復興対策」(45.1%)で4割台半ばとなっており、以下「県政の広報・広聴活動」(38.6%)、「防災対策の充実」(35.3%)、「国際的な交流や協力」(31.7%)が続いている。

一方、『努力が必要』では、「雇用の安定」(44.7%)が4割台半ばとなっており、「農林水産業の活性化対策」(37.8%)、「福祉対策」(37.3%)、「病気の予防や医療施設の充実」(35.7%)、「学校教育の充実」(34.6%)、「中小企業の育成」(34.2%)が続き、10項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。。



『やっている』で全県平均を上回っているのは、「福祉対策」(7.1ポイント)、「県政の合理的運営への努力」(6.2ポイント)、「病気の予防や医療施設の充実」(5.1ポイント)、「県政の広報・広聴活動」(3.7ポイント)など10項目となっている。

一方、『努力が必要』で全県平均を上回っているのは、「農林水産業の活性化対策」(8.6ポイント)、「交通網の整備」(5.5ポイント)、「環境対策」(2.3ポイント)、「防災対策の充実」(1.9ポイント)、「震災からの復興対策」(1.6ポイント)の5項目となっている。

やっている（計）－全県結果との比較	比率の差
(ウ) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	7.1
(ク) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	6.2
(カ) 病気の子供や病院などの医療施設の充実	5.1
(イ) 県政の広報・広聴活動	3.7
(ハ) 雇用の安定と職業能力の開発	2.8
(ク) 交通安全・防犯対策	2.7
(コ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	2.5
(セ) 良質な住宅の供給	2.4
(ニ) 創造的活力に富む中小企業の育成	2.1
(シ) 農林水産業の活性化対策	1.1
(ト) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	-0.3
(エ) 防災対策の充実	-1.8
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	-2.2
(七) 国際的な交流や協力	-4.0
(フ) 震災からの復興対策	-4.3
(ホ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-4.5
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-7.4

努力必要（計）－全県結果との比較	比率の差
(シ) 農林水産業の活性化対策	8.6
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	5.5
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	2.3
(エ) 防災対策の充実	1.9
(フ) 震災からの復興対策	1.6
(ト) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	-0.6
(ウ) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.6
(ハ) 雇用の安定と職業能力の開発	-0.9
(ク) 病気の子供や病院などの医療施設の充実	-3.5
(ホ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-3.7
(イ) 県政の広報・広聴活動	-4.1
(セ) 良質な住宅の供給	-4.1
(フ) 国際的な交流や協力	-4.2
(ニ) 創造的活力に富む中小企業の育成	-4.2
(コ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	-6.7
(ク) 交通安全・防犯対策	-10.1
(ク) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-11.5

『やっている』で前年度調査から増加したのは、「防災対策の充実」(8.0ポイント)、「良質な住宅の供給」(4.4ポイント)、「芸術文化の振興」(4.1ポイント)、「交通網の整備」(4.0ポイント)など8項目となっている。

一方、『努力が必要』では、前年度調査から「環境対策」(1.4ポイント)を除く16項目で減少しており、特に、「雇用の安定と職業能力の開発」(-13.8%)、「中小企業の育成」(-10.2%)で10ポイント以上減少している。

やっている（計）－前年度調査との比較	増減
(エ) 防災対策の充実	8.0
(セ) 良質な住宅の供給	4.4
(ホ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	4.1
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	4.0
(ニ) 創造的活力に富む中小企業の育成	2.4
(ハ) 雇用の安定と職業能力の開発	2.0
(ト) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	1.4
(ク) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	0.8
(ウ) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.1
(イ) 県政の広報・広聴活動	-0.1
(ク) 交通安全・防犯対策	-0.4
(コ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	-0.8
(カ) 病気の子供や病院などの医療施設の充実	-1.4
(シ) 農林水産業の活性化対策	-1.7
(フ) 震災からの復興対策	-1.9
(七) 国際的な交流や協力	-2.0
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	-4.4

努力必要（計）－前年度調査との比較	増減
(キ) 自然環境を守り育てる環境対策	1.4
(ク) 病気の子供や病院などの医療施設の充実	-0.5
(ホ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興	-1.5
(シ) 農林水産業の活性化対策	-2.0
(コ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実	-2.3
(フ) 国際的な交流や協力	-3.1
(ウ) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.6
(イ) 県政の広報・広聴活動	-3.9
(ト) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	-5.0
(ク) 県政の合理的運営（行政改革）への努力	-5.7
(セ) 良質な住宅の供給	-6.3
(ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-6.4
(フ) 震災からの復興対策	-7.1
(ク) 交通安全・防犯対策	-8.2
(エ) 防災対策の充実	-9.9
(ニ) 創造的活力に富む中小企業の育成	-10.2
(ハ) 雇用の安定と職業能力の開発	-13.8